

平成 3 0 年度

水道事業年報



水道企業団庁舎

斐川宍道水道企業団

目 次

I 上水道事業の概要	1
1. 水道事業のあゆみ	1
2. 平成30年度の事業概要	2
3. 上水道の推移	3
4. 簡易水道統合整備事業の概要	5
5. 令和元年度の事業計画	6
6. 給水区域	8
7. 施設の概要	9
II 業務概要	17
1. 配水量・有収水量の動き	17
2. 用途別有収水量と給水収益	18
3. 給水装置工事申請件数	18
4. 量水器取替及び小修理工事件数	18
5. 薬品・主要電力使用状況	19
6. 検針・収納関係	20
7. 業務の状況	26
8. 水質検査結果	28
III 財務状況	30
1. 平成30年度決算書	30
2. 損益計算書	31
3. 貸借対照表	32
4. 損益計算の推移	33
5. 財務比率・経営比率	35
6. 料金原価	39
IV 工業用水道事業の概要	40
V 機構と組織	48
1. 機構図	48
2. 事務分掌	49
付 表	50
1. 水道年表	50
2. 施設所在地	54
3. 指定業者協議会	55
4. 指定給水装置工事事業者	56
5. 送配水フロー図・管内図	60

I 上水道事業の概要

I 上水道事業の概要

1. 水道事業のあゆみ

本企業団は斐川村と宍道町の共同事業により、昭和 34 年 12 月に厚生大臣から広域簡易水道事業の認可を受け、斐伊川右岸の斐川町大字出西 7 6 2 番地付近に取水井 2 本を水源として第 1 配水池（出西 $V=1,250 \text{ m}^3$ ）第 2 配水池（佐々布 $V=250 \text{ m}^3$ ）を設置し、計画給水人口 28,000 人、一日最大給水量 $4,620 \text{ m}^3$ とする<sup>斐川村
宍道町</sup>水道組合を発足させて、昭和 36 年 8 月 11 日から供用を開始しました。

第 1 期拡張事業は、計画給水区域外の住民の熱望により昭和 39 年に新たに宍道町の小松、浜の二地区を給水区域に加え、第 3 配水池（白石 $V=50 \text{ m}^3$ ）を設置して計画給水人口 28,600 人、一日最大給水量 $4,770 \text{ m}^3$ へと増強しました。

又、昭和 41 年には玉湯町（ $6,000 \text{ m}^3/\text{月}$ ）へ、そして昭和 42 年には平田市（一日最大給水量 75 m^3 ）へそれぞれ分水を開始しました。

そして、昭和 40 年代に入ると著しい生活水準の向上に伴って家庭用水の水需要量は飛躍的に伸び、給水戸数 2,874 戸、使用水量は $642,700 \text{ m}^3$ になりました。加えて工場進出などによる産業用水も急増して計画給水量を突破するようになったことから、昭和 45 年から第 2 期拡張事業に着手し、今後の水需要増にも対応できるように取水井 3 本の新設と第 4 配水池（出西 $V=2,000 \text{ m}^3$ ）、第 5 配水池（佐々布 $V=1,000 \text{ m}^3$ ）を設置し、一日最大給水量を $11,300 \text{ m}^3$ に増加させ、昭和 48 年に完成しました。

さらに、玉湯町への分水増量と宍道町内の安定供給を図るため、昭和 49 年に来待バイパス線配水管布設事業、倉敷受水槽（ $V=1,000 \text{ m}^3$ ）建設事業にも着手しました。

また、昭和 52 年からは目標年次を昭和 60 年として、給水人口 36,000 人、一日最大配水量 $22,000 \text{ m}^3$ とする第 3 期拡張事業に着手しました。これは、新たな給水区域として宍道町佐々布、白石、来待で 9 地区を編入すると共に、取水量を確保するため 6 番目の取水井の建設、第 6 配水池（直江町 $V=3,000 \text{ m}^3$ ）の設置、導水管の布設、分水量増加に伴う送水管の布設等を施行し、昭和 55 年 6 月に完成しました。この結果、分水量も玉湯町へ $2,000 \text{ m}^3/\text{日}$ 、平田市へ $200 \text{ m}^3/\text{日}$ 分水できるようになりました。

その後、より高水準な水道をめざして平成 2 年から増補改良事業に着手し、石綿セメント管の布設替え、第 2 取水井の更新、災害時の対策と水圧不足地域解消のための第 7 配水池（荻田 $V=10,000 \text{ m}^3$ 、 $GL=65.0\text{m}$ ）の築造、併せて緊急遮断弁の設置を行い、第 1 期増補改良事業は平成 11 年度に完了しました。

引き続き、21 世紀においても「安全でおいしい水の安定供給」を続けるため、平成 12 年度から更に 12 ヶ年計画で第 2 期増補改良事業を計画し、残る石綿セメント管の更新や第 8 配水池への送水管の布設、第 4 取水井の更新を行い、平成 20 年度からは、送水ポンプ棟の建築、電気機械設備の新設、第 8 配水池の築造、除鉄除マンガン濾過施設の新設、次亜塩素滅菌設備の新設、クリプト菌の紫外線照射施設等の整備を進め、平成 23 年度に完了しました。

さらに、平成 23 年 10 月には宍道町 5 地区簡易水道事業、平成 24 年 4 月には大黒山麓地区簡易水道事業、平成 29 年 4 月には阿宮地区簡易水道事業、島村地区簡易水道事業を統合しました。

2. 平成 30 年度の事業概要

今年度は給水人口、給水件数が増加となりました。その結果、給水収益は 585,281 千円となり前年度と比較して 660 千円の増加となりました。

収益的収支は、収益が 750,869 千円、費用が 667,491 千円で差引 83,378 千円の純利益となり前年度に引き続き黒字決算となりました。

(業務の状況)

今年度の給水件数は 14,964 件で前年度に比較して 398 件(2.7%)増加し、給水人口は 38,228 人で前年度に比較して 320 人 (0.8%)の増加となりました。

年間総配水量は前年度に比較して 3,486 m³ (0.1%)減少して 4,575,204 m³となり、年間総有収水量は 4,070,165 m³で 6,737 m³(0.2%) の減少となりました。これは平成 29 年度のような大寒波の発生が無く、宅内での漏水が大幅に減少したこと及び節水機器の高機能化と普及により、一般家庭での使用水量が減少していることが主な要因です。

なお、有収率は 89.0%であり、増減はありませんでした。

(財政の状況)

収益的収支(消費税抜)については、収益は前年度に比較して 3,742 千円(0.5%)増の 750,869 千円、費用は前年度に比較して 18,414 千円(2.7%)減の 667,491 千円となり 83,378 千円の純利益となりました。

収益については、給水収益の増により増額となりました。一方、費用については、修繕費、減価償却費、支払利息の減などにより減額となりました。

次に、資本的収支(消費税込)については、収入が 230,459 千円(企業債 140,000 千円、工事負担金 2,269 千円、負担金 6,702 千円、他会計負担金 35,088 千円、工業用水道事業への長期貸付金返戻金 46,400 千円)となり、支出は 490,357 千円(建設改良費 211,339 千円、企業債償還金 279,017 千円)となりました。

なお、資本的収支の差引不足額 259,898 千円については、消費税資本的収支調整額、損益勘定留保資金で補填しました。

(一般拡張・改良工事)

斐川町内で 3 ヲ所、宍道町内では 4 ヲ所の老朽管改良工事等を行い、配水施設の機能向上を図りました。その他、公共事業に伴う支障移転工事 4 件を行いました。

今後は管路更新計画(アセットマネジメント)を精査し、計画的に施設更新を行なっていくとともに、長年の課題である赤水の発生を防止するため、浄水機能強化を図ってまいります。

将来的に、給水人口の減少や節水意識の浸透、節水機器の高機能化と普及により使用量は微減傾向を示しながら推移し、水道使用料の大きな増加が見込めないことが予想されるため、経営安定を図るうえでの指針となる「水道事業ビジョン」を策定し、引き続き計画的かつ効率的な事業運営を行ってまいります。

3. 上水道の推移

(1) 事業の実施状況

事業名 項 目	創 設	第 1 期 拡 張 事 業	第 2 期 拡 張 事 業
認 可 年 月 日	昭和34年12月11日	昭和39年 3月31日	昭和45年 3月13日
計 画 給 水 人 口	28,000人	28,600人	28,600人
計画1日最大給水量	4,620m ³	4,770m ³	11,300m ³
1人1日最大給水量	150L	150L	380L
着 工 年 月 日	昭和35年 2月18日	昭和39年 8月27日	昭和45年 6月19日
竣 工 年 月 日	昭和37年 3月31日	昭和39年11月30日	昭和48年 3月25日
事 業 費	228,129千円	8,230千円	176,145千円
主 要 設 備	*取水施設 取水井 →2井 導水管 φ200 203m *送水施設 ポンプ →4台 送水管 φ300 280m *配水施設 配水池 →2池 (第1配水池) 1,250 m ³ (第2配水池) 250 m ³ 配水管 φ400~φ100 61,484m	*送水施設 送水管 φ75 560m *配水施設 配水池 →1池 (第3配水池) 50 m ³ 配水管 φ125~φ100 1,760m	*取水施設 取水井 →3井 (No.3・No.4・No.5) 導水管 φ200 378m *送水施設 ポンプ →4台 送水管 φ300 464m *配水施設 配水池 →2池 (第4配水池) 2,000 m ³ (第5配水池) 1,000 m ³ 配水管 φ400~φ200 3,793m

増補改良事業 (来待バイパス・倉敷受水槽)	第3期拡張事業	増補改良事業 (第1期事業)	増補改良事業 (第2期事業)
-	昭和52年 4月20日	-	-
28,600人	36,000人	36,000人	37,300人
11,300m ³	22,000m ³	22,000m ³	20,108m ³
380L	550L	550L	485L
昭和49年12月28日	昭和52年 7月 5日	平成 2年 4月 1日	平成12年 4月 1日
昭和52年 6月20日	昭和55年 6月30日	平成12年 3月31日	平成24年 3月31日
471,193千円	1,790,000千円	3,807,610千円	2,075,000千円
来待バイパス線配水管布設 (293,039 千円) *配水施設 (白石配水ポンプ場) 受水槽 250m ³ →1ヵ所 配水ポンプ →3台 配水管 φ250~φ200 9,227m 倉敷受水槽設置事業 (178,154 千円) *配水施設 (宍道配水ポンプ場) 受水槽 1,000m ³ →1ヵ所 配水ポンプ →6台 (水道局庁舎建設) 昭和53年1月30日竣工 事業費 80,000 千円 敷地面積 795 m ² 鉄骨3階建て 416.13 m ² (延 866.44 m ²)	*取水施設 取水井 →1井 (No.6) 導水管 φ250 250m *送水施設 (庄原加圧ポンプ場) ポンプ →6台 送水管 φ450~φ250 9,010m *配水施設 配水池 →1池 (第6配水池) 3,000 m ³ 配水管 φ600~200 14,180m *遠隔監視制御システム導入	*取水施設 取水井 →1井 (No.7) 取水井更新 →2井 (No.1・No.6) *配水施設 配水池 →1池 (第7配水池) V=10,000 m ³ 配水管布設替え (石綿セメント管) L=47.600m 緊急遮断弁設置→2池 (第4・第7配水池)	*取水施設 取水井更新 →2井 (No.2・No.4) *配水施設 配水池 →1池 (第8配水池) V=10,000 m ³ 緊急遮断弁設置 *送水施設 ポンプ場 →1棟 ポンプ →4台 送水管 →φ500 L=5,000m *配水管布設替 (石綿セメント管更新) L=13.900m *塩素滅菌設備更新 次亜塩素酸トリカ滅菌設備 *耐塩素性病原生物対策 紫外線照射設備 *赤水対策 除鉄・除マンガン濾過装置

第 3 期 拡張事業 第 1 回 変更	第 3 期 拡張事業 第 2 回 変更	第 3 期 拡張事業 第 3 回 変更
平成 21 年 3 月 31 日	平成 25 年 2 月 20 日	(届出) 平成 29 年 3 月 1 日
36,000 人	37,500 人	38,000 人
20,000 m ³	18,000 m ³	18,000 m ³
550 L	480 L	473 L
平成 21 年 4 月 1 日	平成 25 年 4 月 1 日	—
平成 23 年 3 月 31 日	平成 27 年 3 月 31 日	—
1,738,000 千円	463,400 千円	—
紫外線照射設備導入、除鉄・ 除マンガンを装置導入における 浄水方法の変更	統合した簡易水道の施設 整備や水源変更 *取水施設 取水井更新 →1 井 *配水施設 配水池 →1 池 ポンプ場 →1 ヲ所 簡易水道統合整備事業 平成 23 年 10 月統合 宍道地区 平成 24 年 4 月統合 大黒山麓地区	簡易水道統合整備事業 平成 29 年 4 月統合 阿宮・島村地区

4. 簡易水道統合整備事業の概要

(1) 宍道地区簡易水道統合整備事業

◆事業概要

宍道町の菅原簡易水道、佐々布旭・畑簡易水道は、水源に乏しく、隣接する斐川宍道水道企業団から分水を受け給水してきました。

また、同町の佐倉・田根簡易水道、和名佐・小林簡易水道、金山簡易水道は、自己水源（井戸）により給水を行ってきましたが、近年水源枯渇の傾向にあります。

このため、宍道町 5 簡易水道（菅原、佐々布旭・畑、佐倉・田根、和名佐・小林、金山）を平成 23 年 10 月に本企業団に統合し、水道水の安定供給を図るための施設整備を平成 25 年度から平成 26 年度に行いました。

◆整備内容

(1) 不用となる各地区の簡易水道施設の撤去や撤去後の場内整備を行いました。

(2) 佐倉・田根簡易水道について、菅原簡易水道との間に連絡管を布設し、水源転換を図りました。

(3) 和名佐・小林簡易水道（深井戸）について、新たに深井戸をさく井し、安定供給

を図りました。

- (4) 菅原簡易水道について、大野原配水池の老朽化や容量の不足のため隣接地に配水池の新設を行いました。
- (5) 遠隔地となる施設との連携や緊急対応のため遠方監視設備を整備しました。

(2) 大黒山麓地区簡易水道統合整備事業

◆事業概要

大黒山麓地区簡易水道は平成8年度に施設整備されています。

その水源は地すべり対策用集水井と深井戸を水源としていますが、近年、水量が極めて不安定であるとともに、降雨の影響による水量・水質に問題を抱え、給水車による上水の搬入等の対応を行っていました。

このことから水源を上水道から受水することで水量や水質の安定性を図るため、平成24年4月に統合し、平成24年度から平成26年度にかけて施設整備を行いました。

◆整備内容

上水の受水は出雲市斐川町学頭の市道に布設されている上水道施設配水管より分岐し、高低差があることから2箇所の中継ポンプ施設を経て送水管により受水タンクとなる簡易水道浄水場にある低所配水池に流入させました。

(3) 阿宮地区、島村地区簡易水道事業統合

◆事業概要

国の方針により、簡易水道事業は原則として水道事業に統合することとされ、出雲市の12の簡易水道事業の内、斐川地域の阿宮地区簡易水道事業、従来から水道水を供給している島村地区簡易水道事業を平成29年4月に統合しました。

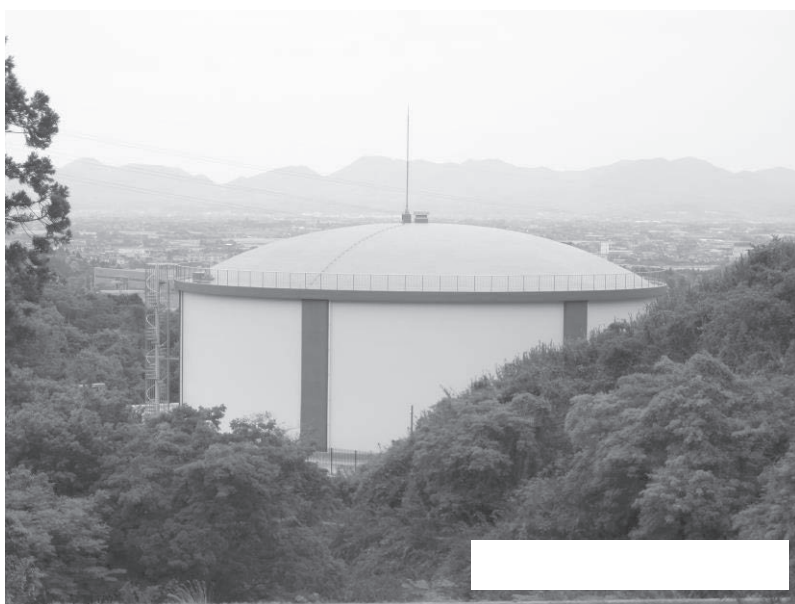
5. 令和元年度の事業計画

(1) 業務予定量(当初予算書)

・年間総給水量	4,100,000 m ³
・1日平均給水量	11,200 m ³
・給水件数	14,833 件
・建設改良事業費	786,305 千円
事業内容	配水設備工事 浄水場改良工事

(2) 予算(当初)概要

収益的収入及び支出	事業収益	838,872 千円
	事業費用	759,974 千円
資本的収入及び支出	資本的収入	758,863 千円
	資本的支出	1,088,091 千円
資本的収支不足額への補てん財源		
	消費税資本的収支調整額	68,726 千円
	損益勘定留保資金	260,502 千円



6. 給水区域

出雲市斐川地域

阿宮	全地区
出西	全地区
神水	全地区
求院	全地区
併川	全地区
富村	全地区
名島	全地区
鳥井	全地区
上直江	全地区
今在家	全地区
福富	全地区
原鹿	全地区
美南	全地区
直江	全地区
沖洲	全地区
中洲	全地区
黒目	全地区
三分市	全地区
坂田	全地区
三絡	全地区
神庭	全地区
莊原	全地区
上庄原	全地区
学頭	全地区

松江市宍道地域

伊志見	全地区
佐々布	全地区
宍道	全地区
昭和	全地区
白石	全地区
西来待	全地区
東来待	全地区
上来待	全地区

出雲市島村地域

島村	全地区
----	-----



7. 施設の概要

(1) 現有施設

施設名	施 設 概 要			
水道企業団庁舎	鉄骨造 3 階建		延床面積	866.44 m ²
			敷地面積	1,048 m ²
出 西 水 源 地 (取 水 井)	浅井戸 6 井			
	スクリーン	内径 1.2m × 深さ 18.0m	1 井	
	スクリーン	内径 1.2m × 深さ 18.3～18.5m	3 井	
	スクリーン	内径 1.0m × 深さ 15.0～20.0m	2 井	
(取水ポンプ)	水中ポンプ 6 台			
	Q=3.47 m ³ /分	H=12.8m	P=15.0kw	1 台
	Q=3.00～3.48 m ³ /分	H=14.0～17.0	P=15.0kw	4 台
	Q=3.47 m ³ /分	H=20.0m	P=18.5kw	1 台
(受 水 槽)	着水槽			
	R C 造	14.5m×1.5m(21.8 m ²)		1 槽
	受水槽			
	R C 造	7.2m×8.2m(59.0 m ²)		2 槽
(塩素滅菌設備)	前塩設備			
	次亜貯留槽 500ℓ			1 槽
	次亜注入ポンプ 70－210ℓ/分—40W			2 台
	後塩設備			
	次亜受入貯留槽 5 m ³			2 槽
	次亜貯留槽 500ℓ			1 槽
	次亜注入ポンプ 130－540ℓ/分—90W			2 台
(除鉄除マンガ ン濾過設備)	濾過ポンプ棟 RC 造	100.89 m ²		1 棟
	除鉄・除マンガ	7,200 m ³ /日 (圧力密閉型)		1 式 (3 台)
	濾過装置	4,800 m ³ /日 (圧力密閉型)		1 式 (2 台)
	原水槽	5.5m×6.2m×3m		1 槽
	逆洗水槽	5.5m×3.5m×3m		1 槽
	濾過ポンプ	1.7 m ³ /min×25.0×15.0kw		3 台
	逆洗ポンプ	5.0 m ³ /min×15.0×18.5kw		2 台
	排水池	7.4m×7.4m×1.5m		2 池
(紫外線照射設備)	UV 照射設備	最大 20,000 m ³ /日		2 台
(送水ポンプ)	直江配水池送水ポンプ			
	両吸込渦巻ポンプ			
	Q=3.43 m ³ /分	H=74.0m	P=75kw	4 台
	送水ポンプ棟			
	RC 造 2 階建	18.0×10.0(180.0 m ²)		1 棟

(自家用発電設備)	出西配水池送水ポンプ				
	両吸込渦巻ポンプ				
	Q=3.61 m ³ /分	H=60.0m	P=75kw	2 台	
	送水ポンプ室				
	鉄骨平屋建	18.0× 10.0(180.0 m ²)		1 棟	
	460 HPディーゼル				
荻田送水ポンプ場	送水ポンプ室		鉄骨平屋建	284.0 m ²	1 棟
	渦巻ポンプ				
	Q=3.47 m ³ /分	H=42.5m	P=37kw	3 台	
	自家用発電設備		180 HPディーゼル		
第 4 配 水 池 (出 西)	P C 造		内径 22.60m		
	有効貯水量		2,000 m ³		
	満水位標高		70.50m		
	有 効 水 深		5.50m		
	低水位標高		65.00m		
第 8 配 水 池 (直江)	P C 造		内径 36.00m		
	有効貯水量		10,000 m ³		
	満水位標高		73.00m		
	有 効 水 深		10.00m		
	低水位標高		63.00m		
第 7 配 水 池 (佐々布荻田)	P C 造		内径 36.00m		
	有効貯水量		10,000 m ³		
	満水位標高		73.10m		
	有 効 水 深		10.10m		
	低水位標高		63.00m		
下 倉 配 水 池 (白石)	SUS 製		6.0m×5.0 m		
	有効貯水量		40 m ³		
	満水位標高		67.00 m		
	有 効 水 深		1.40 m		
	低水位標高		65.60 m		
畑 配 水 池 (佐々布)	RC 造				
	有効貯水量		34 m ³		
	満水位標高		163.70m		
	有 効 水 深		2.50m		

	低水位標高	161.20m
南企業団地配水池 (佐々布)	F R P 製 有効貯水量	40 m ³
	満水位標高	132.20m
	有効水深	1.80m
	低水位標高	130.40m
金山配水池 (白石)	RC 造 有効貯水量	90.60 m ³
	満水位標高	176.45m
	有効水深	2.40m
	低水位標高	174.05m
新大野原配水池 (西来待)	PC 造 有効貯水量	内径 11.60m 400 m ³
	満水位標高	112.20m
	有効水深	4.00m
	低水位標高	108.20m
田根配水池 (上来待)	RC 造 2 池 有効貯水量	98 m ³
	満水位標高	152.50m
	有効水深	2.50m
	低水位標高	150.00m
和名佐配水池 (上来待)	RC 造 2 池 有効貯水量	75 m ³
	満水位標高	229.00m
	有効水深	2.00m
	低水位標高	227.00m
和名佐浄水場 (1号取水井)	管理棟 C B 造 建築面積 22.12 m ² 延面積 22.12 m ² 深井戸 1 井 内径 0.10m × 深さ 92.0m V P 製丸穴スクリーン	
(取水ポンプ)	深井戸用水中ポンプ 1 台 Q=0.042 m ³ /分 * 19.0m * 0.45kw	
(2号取水井)	深井戸 1 井 内径 0.15m × 深さ 200.0m SUS 製スリット加工	
(取水ポンプ)	深井戸用水中ポンプ 1 台 Q=0.020 m ³ /分 * 12.5m * 0.75kw	
(3号取水井)	深井戸 1 井 内径 0.10m × 深さ 192.0m VP 製スリット加工	
(取水ポンプ)	深井戸用水中ポンプ 1 台 Q=0.020 m ³ /分 * 12.5m * 0.75kw	

(着水・酸化池) (曝気塔) (前塩素注入設備) (除鉄・除マン設備)	RC造 有効容量 1.33 m ³ 1.20m(B)*4.20m(W)*2.0m(H) 有効水深 0.85m 処理能力 60.0 m ³ /日 容量 50 L*1 槽 注入ポンプ 15w * 2 台(交互) 処理能力 60.0 m ³ /日 φ 600*2.70m(H) ろ過ポンプ 2 台 (予備 1 台) Q=0.042 m ³ /分 * 23.0m * 0.75kw
(浄水地) (送水ポンプ)	RC造 有効容量 4.20 m ³ 1.0m(B)*2.0m(W)*2.0m(H) 有効水深 1.05m 水中ポンプ 2 台 (予備 1 台) Q=0.0385 m ³ /分 * 36.0m * 1.5kw
(逆洗ポンプ)	水中ポンプ 1 台 Q=0.20 m ³ /分 * 20.50m * 1.5kw
大黒山麓浄水場 (浄水池、低所配水池)	管理棟 CB造 建築面積 (延面積) 10.54 m ² RC造 2.0m(B)*2.0m(W)*2.5m*2 槽 有効貯水量 16 m ³ 満水位標高 179.50m 有効水深 2.00m 低水位標高 177.50m
(送水ポンプ) 大黒山麓高所配水池	水中ポンプ 2 台 (予備 1 台) Q=0.05 m ³ /分 * 20.0m * 1.5kw RC造 2 池 有効貯水量 24 m ³ 満水位標高 212.00m 有効水深 2.00m 低水位標高 210.00m
阿宮浄水場	管理室 CB造 建築面積 34.9 m ² 取水井 浅井戸 1 井 スクリーン 内径 0.4m×深さ 30.0m 取水ポンプ 水中ポンプ 2 台 Q=0.12 m ³ /分 *8.0m * 1.1kw 浄水池 RC造 1.5m×2.7m×1.5m 有効水量 6.07 m ³ 送水ポンプ 水中ポンプ 2 台 Q=0.1 m ³ /分 *70.0m *3.7kw 自家発電設備 デーゼルエンジン 定格 20 kVA
阿宮配水池	RC造 有効水量 115.5 m ³ 満水位標高 88.0m 有効水深 3.0m 低水位標高 85.0m
畑谷ポンプ場	電気室 CB造 建築面積 3.98 m ² 受水槽 RC造 1.5m×1.5m×1.0m 有効水量 2.25 m ³ 送水ポンプ 水中ポンプ 2 台 Q=0.265 m ³ /分 *65.0m *5.5kw

畑谷調整池	RC 造 有効水量 2.53 m ³ 満水位標高 141.3m 有効水深 1.3m 低水位標高 140.0m
宮尾ポンプ場	電気室 C B 造 建築面積 3.98 m ² 受水槽 R C 造 1.5m×1.5m×1.0m 有効水量 2.25 m ³ 送水ポンプ 水中ポンプ 2 台 Q=0.06-0.265 m ³ /分*35.0-23.0m *2.2kw
高野ポンプ場	電気室 C B 造 建築面積 3.98 m ² 受水槽 R C 造 1.5m×1.5m×1.0m 有効水量 2.25 m ³ 送水ポンプ 水中ポンプ 2 台 Q=0.078 m ³ /分 *113.0m *5.5kw
高野配水池	RC 造 有効水量 2.34 m ³ 満水位標高 160.2m 有効水深 1.2m 低水位標高 159.0m
高野第 1 調整池	RC 造 有効水量 1.08 m ³ 満水位標高 116.5m 有効水深 0.6m 低水位標高 115.9m
畑ポンプ場	R C 造 受水槽（浄水地） 1 池 容量 2.16 m ³ 送水ポンプ 水中ポンプ 2 台（予備 1 台）
佐々布旭ポンプ場	R C 造 受水槽 1 池 容量 40.25 m ³ 送水ポンプ 陸上ポンプ 2 台（予備 1 台） Q=0.08 m ³ /分 * 75.0m * 5.5kw
金山ポンプ場	R C 造 受水槽 1 池 容量 3.38 m ³ 送水ポンプ 陸上ポンプ 2 台（予備 1 台） Q=0.04 m ³ /分 * 83.0m * 2.2kw
来待大森ポンプ場	F R P 製 受水槽 2 池 容量 10.80 m ³ 送水ポンプ 陸上ポンプ 2 台（予備 1 台） Q=0.35 m ³ /分 * 103.0m * 15.0kw

田根ポンプ場	R C 造 受水槽（浄水地） 1 池 容量 25.80 m ³ 送水ポンプ 陸上ポンプ 2 台（予備 1 台） $Q=0.08 \text{ m}^3/\text{分} * 90.0\text{m} * 5.5\text{kw}$
久戸ポンプ場	受水槽 加圧ポンプ（ポンプ） $D=40 \text{ mm}$ $Q=0.29 \text{ m}^3/\text{分}$ $H=42\text{m}$ $P=2.2\text{kw}$ 1 台
湖南台ポンプ場	受水槽 ウォーターエース 0.50 m ³ （耐圧 12.1 kg/cm ² ） 加圧ポンプ（水中ポンプ） $D=40 \text{ mm}$ $Q=0.22 \text{ m}^3/\text{分}$ $H=51.0\text{m}$ $P=3.7\text{kw}$ 2 台
岡の目ポンプ場	受水槽 ウォーターエース 1.20 m ³ （耐圧 16.9 kg/cm ² ） 加圧ポンプ（水中ポンプ） $D=50 \text{ mm}$ $Q=0.45 \text{ m}^3/\text{分}$ $H=55.0\text{m}$ $P=7.5\text{kw}$ 2 台
下倉ポンプ場	R C 造 受水槽 $Q=7.24 \text{ m}^3$ 送水ポンプ $0.098 \text{ m}^3/\text{分} \times 71\text{m} \times 3.7\text{kw} \times 1 \text{ 台}$
大黒山麓 第 1 中継ポン プ場	S U S 製受水槽 2 槽 容量 3.0 m ³ 送水ポンプ 陸上ポンプ 2 台（予備 1 台） $Q=0.06 \text{ m}^3/\text{分} * 80\text{m} * 5.5\text{kw}$
第 2 中継ポン プ場	S U S 製受水槽 2 槽 容量 32.0 m ³ 送水ポンプ 陸上ポンプ 2 台（予備 1 台） $Q=0.06 \text{ m}^3/\text{分} * 86\text{m} * 5.5\text{kw}$
防災施設	緊急遮断弁 出西配水池 $\phi 200\text{mm}$ 直江配水池 $\phi 250\text{mm}$ 荻田配水池 $\phi 250\text{mm}$ 新大野原配水池 $\phi 150\text{mm}$

(2) 配水管等の布設状況

(ア) 管種別延長

平成31年3月現在 (単位：m)

管 種	導 水 管	送 水 管	配 水 管	給 水 管	合 計
ダクトイル鋳鉄管	490	16,162	78,092	12	94,756
鋼 管	162	139	5,859	684	6,844
石綿セメント管	0	0	0	0	0
塩化ビニール管	45	4,975	349,591	53,067	407,678
ポリエチレン管	156	6,234	12,339	89	18,818
ステンレス管	28	0	232	0	260
合 計	881	27,510	446,113	53,852	528,356

※工業用水道への貸付延長含む

(イ) 導水管延長

(単位：m)

年 度 口 径	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
300mm未満	737	737	737	816	839
300～500mm未満	0	0	0	0	0
500～1000mm未満	65	65	65	65	60
合 計	802	802	802	881	899

(ウ) 送水管延長

(単位：m)

年 度 口 径	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
300mm未満	11,872	11,961	11,961	12,729	12,763
300～500mm未満	8,727	8,812	8,813	8,813	8,834
500～1000mm未満	5,966	5,968	5,968	5,968	5,978
合 計	26,565	26,741	26,742	27,510	27,575

※工業用水道への貸付延長含む

(工) 配水管延長

(単位：m)

年 度 口 径	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
5 0 mm以下	139,089	139,334	140,287	146,661	146,888
7 5 mm	89,277	89,087	89,249	95,390	96,032
1 0 0 mm	97,066	97,546	97,276	99,707	99,943
1 2 5 mm	0	0	0	0	0
1 5 0 mm	46,298	47,131	46,995	52,247	52,374
2 0 0 mm	8,646	8,714	8,721	8,524	8,282
2 5 0 mm	13,643	13,643	13,504	13,570	13,504
3 0 0 mm	15,077	15,077	15,236	15,236	15,235
3 5 0 mm	2,054	2,054	2,054	2,054	2,054
4 0 0 mm	3,944	3,944	3,944	3,944	3,955
4 5 0 mm	2,489	2,489	2,489	2,632	2,489
5 0 0 mm	3,058	3,058	3,058	3,058	3,058
6 0 0 mm	3,090	3,090	3,090	3,090	3,091
合 計	423,731	425,167	425,903	446,113	446,905

(才) 給水管延長

(単位：m)

年 度 口 径	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
5 0 mm以下	53,187	53,049	52,794	53,280	53,236
7 5 mm	560	560	560	560	561
1 0 0 mm	12	12	12	12	12
1 5 0 mm	725	0	0	0	0
2 0 0 mm	0	0	0	0	0
合 計	54,484	53,621	53,366	53,852	53,809

(3) 消火栓設置数

(単位：基)

年 度 型 式	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
地 上 式	0	0	0	0	0
地 下 式	831	831	833	872	870
合 計	831	831	833	872	870

Ⅱ 業 務 概 要

Ⅱ 業 務 概 要

1. 配水量・有収水量の動き

(1) 年度別配水量・有収水量の推移

単位：m³

年 度	配 水 量	有 収 水 量	有収率 (%)	備 考
平成 21 年度	4,983,272	4,582,944	91.9	
平成 22 年度	5,154,087	4,680,628	90.8	
平成 23 年度	4,429,002	3,988,863	90.1	
平成 24 年度	4,403,010	3,981,457	90.4	
平成 25 年度	4,467,996	3,985,395	89.2	
平成 26 年度	4,358,594	3,922,879	90.0	
平成 27 年度	4,415,344	3,932,184	89.1	
平成 28 年度	4,408,725	3,950,713	89.6	
平成 29 年度	4,578,690	4,076,902	89.0	
平成 30 年度	4,575,204	4,070,165	89.0	

(2) 平成 30 年度 月別配水量・有収水量の推移

単位：m³

月	配 水 量	日最大配水量	有 収 水 量	有収率 (%)	備 考
4	375,834	12 日 13,151	－	－	有収水量は隔月検針による
5	379,922	15 日 12,639	663,835	87.8	
6	369,124	5 日 13,439	－	－	
7	396,051	27 日 13,506	684,871	89.5	
8	391,820	22 日 13,054	－	－	
9	364,098	3 日 12,611	693,479	91.7	
10	380,242	31 日 12,669	－	－	
11	387,594	20 日 13,366	686,314	89.4	
12	394,536	21 日 13,700	－	－	
1	388,947	8 日 12,715	681,561	87.0	
2	355,020	18 日 13,056	－	－	
3	392,016	8 日 13,070	660,105	88.4	
計	4,575,204	12 月 21 日 13,700	4,070,165	89.0	

(3) 平成 30 年度 年間配水量の内訳

単位：m³

配水量 (100%) 4,575,204	有効水量 (90.9%)	有収水量 (89.0%) 4,070,165	料金水量
	4,157,165	無収水量 (1.9%) 87,000	メーター不感水量 企業団事業用水量・その他
	無効水量 (9.1%) 418,039		漏水量・その他

２．用途別有収水量と給水収益

料金(税抜)

用途 年度		一般用	営業用	その他	分水	合計
平成 21 年	数量 (m³)	2,763,925	748,739	250,824	819,456	4,582,944
	料金 (円)	363,162,632	134,167,589	41,313,627	82,941,028	621,584,876
平成 22 年	数量 (m³)	2,831,690	791,852	250,252	806,834	4,680,628
	料金 (円)	371,786,205	142,007,364	41,167,096	81,998,800	636,959,465
平成 23 年	数量 (m³)	2,856,597	773,931	252,020	106,315	3,988,863
	料金 (円)	374,991,146	138,968,467	41,302,264	12,786,273	568,048,150
平成 24 年	数量 (m³)	2,892,725	783,325	268,688	36,719	3,981,457
	料金 (円)	379,648,880	140,697,892	44,165,916	4,636,296	569,148,984
平成 25 年	数量 (m³)	2,884,950	803,535	263,205	33,705	3,985,395
	料金 (円)	378,948,464	144,387,070	43,206,413	4,246,830	570,788,777
平成 26 年	数量 (m³)	2,838,534	795,194	255,696	33,455	3,922,879
	料金 (円)	372,758,901	142,908,663	42,561,486	4,215,330	562,444,380
平成 27 年	数量 (m³)	2,879,102	767,822	252,875	32,385	3,932,184
	料金 (円)	377,964,060	137,922,464	41,543,360	4,120,074	561,549,958
平成 28 年	数量 (m³)	2,864,419	794,198	259,833	32,263	3,950,713
	料金 (円)	376,878,721	142,561,125	42,314,587	4,065,138	565,819,571
平成 29 年	数量 (m³)	2,983,320	835,946	257,636	0	4,076,902
	料金 (円)	392,206,285	150,134,552	42,279,961	0	584,620,798
平成 30 年	数量 (m³)	2,964,931	855,650	249,584	0	4,070,165
	料金 (円)	390,266,322	154,048,699	40,966,069	0	585,281,090

３．給水装置工事申請件数

	新 設	改 造	修 繕	撤 去	臨 時	計
平成 28 年度	350	210	0	19	4	583
平成 29 年度	289	168	0	9	0	466
平成 30 年度	229	209	0	5	1	444

４．量水器取替及び小修理工事件数

	量 水 器 取 替	量 水 器 等 修理、移転	給 水 管 破損、移転	配 水 管 破損、移転	そ の 他 工 事	業者破損	計
平成 28 年度	1	25	48	28	9	12	123
平成 29 年度	1	48	55	32	6	7	149
平成 30 年度	0	32	43	41	11	7	134

5. 薬品・主要電力使用状況

年 度	次亜塩素酸ソーダ g	出西水源地 kwh	荻田ポンプ場 kwh	電力合計 kwh
平成 9 年	3,138,302	2,428,100	433,360	2,861,460
平成 10 年	3,209,471	2,524,800	447,150	2,971,950
平成 11 年	3,436,988	2,525,800	429,560	2,955,360
平成 12 年	3,230,550	2,542,500	433,680	2,976,180
平成 13 年	3,290,548	2,462,400	423,410	2,885,810
平成 14 年	3,638,086	2,502,900	423,760	2,926,660
平成 15 年	3,884,873	2,506,200	431,810	2,938,010
平成 16 年	3,638,056	2,468,400	436,864	2,905,264
平成 17 年	3,354,340	2,529,000	445,330	2,974,330
平成 18 年	2,550,000	2,507,274	432,806	2,940,080
平成 19 年	2,300,000	2,591,688	432,830	3,024,518
平成 20 年	2,700,000	2,450,850	426,884	2,877,734
平成 21 年	1,600,000 10,190,000	2,426,628	421,847	2,848,475
平成 22 年	25,880,000	2,533,056	390,686	2,923,742
平成 23 年	25,030,000	2,030,760	213,658	2,244,418
平成 24 年	24,230,000	1,999,512	211,116	2,210,628
平成 25 年	25,470,000	2,085,800	206,200	2,292,000
平成 26 年	23,960,000	2,035,128	211,499	2,246,627
平成 27 年	24,830,000	2,070,672	214,809	2,285,481
平成 28 年	23,260,000	2,070,936	207,380	2,278,316
平成 29 年	25,560,000	2,139,936	200,286	2,340,222
平成 30 年	27,170,000	2,168,976	201,189	2,370,165

■平成 21 年度までは塩素を使用。

6. 検針・収納関係

(1) メーター設置数及び用途別検針件数

◆メーター設置数

口径 年度	13 mm	20 mm	25 mm	30 mm	40 mm	50 mm	75 mm	100 mm	150 mm	合 計
平成 30 年	12,502	2,003	213	1	95	36	21	2	1	14,874

◆用途別検針件数

用途 年度	一般用	営業用	官公署用	学校用	プール用	工場用	分 水	その他	合 計
平成 30 年	13,301	1,062	215	13	(8)	6	0	365	14,964

■検針件数は、平成 31 年 3 月 31 日現在。(プール用のうち 6 件は、閉栓中のため合計数に含まない)

(2) 収納形態別件数

種別 年度	調 定 件 数	口 座 振 替	利用率	現金納付他	利用率
平成 9 年	10,283	7,623	74.1	2,660	25.9
平成 10 年	10,466	7,838	74.9	2,628	25.1
平成 11 年	10,775	8,210	76.2	2,565	23.8
平成 12 年	11,076	8,422	76.0	2,654	24.0
平成 13 年	11,190	8,609	76.7	2,581	23.3
平成 14 年	11,372	8,702	76.5	2,670	23.5
平成 15 年	11,438	9,602	83.9	1,835	16.1
平成 16 年	11,613	9,935	85.6	1,678	14.4
平成 17 年	11,713	10,284	87.8	1,429	12.2
平成 18 年	11,984	10,309	86.0	1,675	14.0
平成 19 年	12,118	10,406	85.9	1,712	14.1
平成 20 年	12,168	10,497	86.3	1,671	13.7
平成 21 年	12,283	10,577	86.1	1,706	13.9
平成 22 年	12,360	10,659	86.2	1,701	13.8
平成 23 年	12,944	10,844	83.8	2,100	16.2
平成 24 年	13,215	11,480	86.9	1,735	13.1
平成 25 年	13,390	11,633	86.9	1,757	13.1
平成 26 年	13,555	11,722	86.5	1,833	13.5
平成 27 年	13,724	11,813	86.1	1,911	13.9
平成 28 年	14,024	11,867	84.6	2,157	15.4
平成 29 年	14,566	12,124	83.2	2,442	16.8
平成 30 年	14,964	12,272	82.0	2,692	18.0

(3) 水道料金の変遷

種別	用 途 別	S 37.4～S 50.3 (13 年)		S 50.4～S 52.3 (2 年)	
		基 本 料 金	超 過 料 金	基 本 料 金	超 過 料 金
専用	一 般 用	8 m ³ まで 300 円	超過 1 m ³ につき 3 0 円	8 m ³ まで 300 円	超過 3 0 m ³ まで 4 0 円 3 1 m ³ 以上 5 0 円
専用	営 業 用	10 m ³ まで 380 円	超過 1 m ³ につき 3 0 円	1 0 m ³ まで 380 円	超過 3 0 m ³ まで 4 0 円 3 1 m ³ 以上 5 0 円
専用	官 公 署 用	10 m ³ まで 380 円	超過 1 m ³ につき 3 0 円	1 0 m ³ まで 380 円	超過 3 0 m ³ まで 4 0 円 3 1 m ³ 以上 5 0 円
専用	学 校 用	50 m ³ まで 1,900 円	超過 1 m ³ につき 2 0 円	5 0 m ³ まで 1,900 円	超過 1 m ³ につき 4 0 円
専用	工 場 用	500 m ³ まで 19,000 円	超過 1 m ³ につき 3 0 円	5 0 0 m ³ まで 19,000 円	超過 1 m ³ につき 5 0 円
専用	プ ー ル 用	1 m ³ につき 3 0 円		1 m ³ につき 3 0 円	
専用	臨 時 用	1 m ³ につき 5 0 円		1 m ³ につき 5 0 円	
専用	集会所,墓地用及び 児 童 公 園 等	—		—	
分水	玉 湯 町	1 m ³ につき (S 41・10・20 から) 37.50 円		1 m ³ につき 37.50 円	
分水	平田市島村簡易水道	1 m ³ につき (S 42・8・24 から) 37.50 円		1 m ³ につき 37.50 円	
分水	宍道町菅原地区 簡 易 水 道	—		—	
分水	宍道町佐々布旭・畑 地 区 簡 易 水 道	—		—	

S 52.4～S 55.3 (3 年)		S 55.4～S 57.3 (2 年)		S 57.4～H12.3 (17 年)	
基 本 料 金	超 過 料 金	基 本 料 金	超 過 料 金	基 本 料 金	超 過 料 金
8 m ³ まで 480 円	超過 3 0 m ³ まで 6 4 円 3 1 m ³ 以上 8 0 円	8 m ³ まで 620 円	超過 3 0 m ³ まで 8 3 円 3 1 m ³ 以上 1 0 4 円	8 m ³ まで 780 円	超過 3 0 m ³ まで 1 0 5 円 3 1 m ³ 以上 1 3 0 円
1 0 m ³ まで 610 円	超過 3 0 m ³ まで 6 4 円 3 1 m ³ 以上 8 0 円	1 0 m ³ まで 790 円	超過 3 0 m ³ まで 8 3 円 3 1 m ³ 以上 1 0 4 円	1 0 m ³ まで 1,000 円	超過 1 m ³ につき 1 5 0 円
1 0 m ³ まで 610 円	超過 3 0 m ³ まで 6 4 円 3 1 m ³ 以上 8 0 円	1 0 m ³ まで 790 円	超過 3 0 m ³ まで 8 3 円 3 1 m ³ 以上 1 0 4 円	1 0 m ³ まで 1,000 円	超過 1 m ³ につき 1 3 0 円
5 0 m ³ まで 3,000 円	超過 1 m ³ につき 6 4 円	5 0 m ³ まで 3,900 円	超過 1 m ³ につき 8 3 円	5 0 m ³ まで 5,000 円	超過 1 m ³ につき 1 3 0 円
5 0 0 m ³ まで 30,000 円	超過 1 m ³ につき 8 0 円	5 0 0 m ³ まで 39,000 円	超過 1 m ³ につき 1 0 4 円	5 0 0 m ³ まで 50,000 円	超過 1 m ³ につき 1 5 0 円
1 m ³ につき 5 0 円		1 m ³ につき 6 5 円		1 m ³ につき 8 5 円	
1 m ³ につき 1 5 0 円		1 m ³ につき 2 0 0 円		1 m ³ につき 4 0 0 円	
—		—		1 m ³ につき 4 0 0 円	超過 1 m ³ につき 1 3 0 円
1 m ³ につき (S 53・4・1 から) 4 9 円		1 m ³ につき (S 56・4・1 から) 6 4 円		1 m ³ につき 8 1 円	
1 m ³ につき (S 52・4・1 から) 6 0 円		1 m ³ につき (S 56・4・1 から) 8 0 円		1 m ³ につき 1 0 5 円	
—		—		1 m ³ につき (H 7・4・11 から) 9 7 円	
—		—		1 m ³ につき (H 7・9・5 から) 9 7 円	

* H元・4 から消費税 3%を加算

* H 9・4 から消費税及び地方消費税 5%を加算

種 別	用 途 別	H12.4～H26.3 (14 年)		H26.4～	
		基 本 料 金	超 過 料 金	基 本 料 金	超 過 料 金
専 用	一 般 用	8 m ³ まで 987 円	9 m ³ 以上30 m ³ まで 132.30 円 31 m ³ 以上 164.85 円	8 m ³ まで 1,015.2 円	9 m ³ 以上30 m ³ まで 136.08 円 31 m ³ 以上 169.56 円
専 用	営 業 用	10 m ³ まで 1,270.50 円	超過 1 m ³ につき 190.05 円	10 m ³ まで 1,306.80 円	超過 1 m ³ につき 195.48 円
専 用	官 公 署 用	10 m ³ まで 1,270.50 円	超過 1 m ³ につき 164.85 円	10 m ³ まで 1,306.80 円	超過 1 m ³ につき 169.56 円
専 用	学 校 用	50 m ³ まで 6,342 円	超過 1 m ³ につき 164.85 円	50 m ³ まで 6,523.20 円	超過 1 m ³ につき 169.56 円
専 用	工 場 用	500 m ³ まで 63,420 円	超過 1 m ³ につき 190.05 円	500 m ³ まで 65,232 円	超過 1 m ³ につき 195.48 円
専 用	プ ー ル 用	1 m ³ につき 107.10 円		1 m ³ につき 110.16 円	
専 用	臨 時 用	1 m ³ につき 507.15 円		1 m ³ につき 521.64 円	
専 用	集会所,墓地用及び児童 公 園 等	4 m ³ まで 504 円	超過 1 m ³ につき 164.85 円	4 m ³ まで 518.40 円	超過 1 m ³ につき 169.56 円
分 水	玉 湯 水 道 事 業 (平成 22 年度まで)	1 m ³ につき 101.85 円			
分 水	島 村 簡 易 水 道 (平成 28 年度まで)	1 m ³ につき 132.30 円		1 m ³ につき 136.08 円	
分 水	菅 原 地 区 簡 易 水 道 (平成 23 年 9 月まで)	1 m ³ につき 122.85 円			
分 水	佐々布旭・畑地区簡易水道 (平成 23 年 9 月まで)	1 m ³ につき 122.85 円			

■平成 17 年 3 月 31 日から税込表示

■平成 26 年 4 月 1 日から消費税及び地方消費税 5%から 8%に変更

(4) 加入金等の変遷

加入金の変遷

(単位 円)

口径	S 46.4	S 51.4	S 52.4	S 53.4	S 54.4	S 55.4	S 56.4	S 57.4	S 60.4	H26.4 ～
13 mm	18,000	26,000	28,000	30,000	32,000	42,000	45,000	58,000	58,000	62,640
20 mm	35,000	51,000	56,000	60,000	64,000	83,000	90,000	117,000	119,000	128,520
25 mm	65,000	93,000	101,000	108,000	118,000	153,000	165,000	214,000	208,000	224,640
40 mm	200,000	280,000	311,000	333,000	352,000	458,000	495,000	643,000	674,000	727,920
50 mm	350,000	500,000	546,000	585,000	640,000	820,000	899,000	1,168,000	1,177,000	1,271,160
75 mm	1,000,000	1,400,000	1,554,000	1,665,000	1,728,000	2,246,000	2,426,000	3,153,000	3,013,000	3,254,040
100 mm	1,800,000	2,600,000	2,800,000	3,000,000	3,424,000	4,451,000	4,807,000	6,249,000	5,711,000	6,167,880
150 mm	—	—	—	—	—	—	—	—	14,426,000	15,580,080

* H元.4 から消費税 3%を加算

* H 9.4 から消費税及び地方消費税 5%を加算

* H15.4 から名称変更 (加入負担金から加入金に)

* H17.3.31 から税込表示

* H26.4 から消費税及び地方消費税 8%を加算



7. 業務の状況

年 度 項 目		説 明	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
行政区域内人口(A)	人	年 度 末 の 行政区域内人口	37,497	37,508	37,564	37,548
計画給水人口 (B)	人	認可事業計画の 給 水 人 口	37,300	37,500	37,500	37,500
給水区域内人口(C)	人	年 度 末 の 給水区域内人口	36,820	36,921	36,987	37,000
給 水 人 口(D)	人	C－(給水区域内 未給水世帯数)	36,659	36,794	36,873	36,888
普 及 率	行政区域内普及率	%	97.8	98.1	98.2	
	給水区域内普及率	%	99.6	99.7	99.7	
給 水 件 数	戸	年 度 末 の 給 水 件 数	12,944	13,215	13,390	13,555
年 間 配 水 量(E)	m ³	配水池から送出 した年間水量	4,429,002	4,403,010	4,467,996	4,358,594
1 日平均配水量	m ³	$\frac{(E)}{(\text{年間日数})}$	12,101	12,063	12,241	11,941
1 日最大配水量 (F)	m ³	1 日配水量 実績の最大値	13,682	13,750	15,868	12,851
1 人 1 日平均配水量	L	$\frac{(E) - (\text{年間分水量})}{(D) \times (\text{年間日数})}$	322	325	329	321
1 人 1 日最大配水量	L	$\frac{(F) - (\text{当日の分水量})}{(D)}$	365	372	428	346
年間給水量 (G) (年間有収水量)	m ³	水道料金収入の 対象年間給水量	3,988,863	3,981,457	3,985,395	3,922,879
有 収 率	%	$\frac{(G)}{(E)}$	90.1	90.4	89.2	90.0
1 日平均有収水量	m ³	$\frac{(G)}{(\text{年間日数})}$	10,898	10,908	10,919	10,748
1 人 1 日平均使用量	L	$\frac{(\text{一般用有収水量})}{(D) \times (\text{年間日数})}$	213	215	214	211
職 員 数	人	企業団職員数	11	12	12	12

平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度			備 考
			全 体	斐川町・島村町	宍道町	
37,633	37,527	38,079	38,390	29,735	8,655	
37,500	37,500	38,000	38,000	-	-	
37,094	37,021	38,041	38,352	29,735	8,617	
36,983	36,921	37,908	38,228	29,660	8,568	
98.3	98.4	99.6	99.6	99.7	99.0	
99.7	99.7	99.7	99.7	99.7	99.4	
13,724	14,024	14,566	14,964	11,580	3,384	
4,415,344	4,408,725	4,578,690	4,575,204	-	-	
12,064	12,079	12,544	12,535	-	-	
18,120	13,340	18,007	13,700	-	-	
324	325	331	328	-	-	
346	359	475	358	-	-	
3,932,184	3,950,713	4,076,902	4,070,165	-	-	
89.1	89.6	89.0	89.0	-	-	
10,743	10,824	11,169	11,151	-	-	
213	213	215	212	-	-	
12	12	12	12	-	-	

8. 水質検査結果

(1) 浄水

(平成30年5月24日採水)

分 析 項 目	基 準 値	出西水源地 送水本管	直江配水池系 末端給水栓①
一般細菌	100個/ml以下	0	0
大腸菌	検出されないこと	陰性	陰性
カドミウム及びその化合物	0.003mg/l以下	0.0003 未満	0.0003 未満
水銀及びその化合物	0.0005mg/l以下	0.00005 未満	0.00005 未満
セレン及びその化合物	0.01mg/l以下	0.001 未満	0.001 未満
鉛及びその化合物	0.01mg/l以下	0.001 未満	0.001 未満
ヒ素及びその化合物	0.01mg/l以下	0.001 未満	0.001 未満
六価クロム化合物	0.05mg/l以下	0.005 未満	0.005 未満
亜硝酸態窒素	0.04mg/l以下	0.004 未満	0.004 未満
シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01mg/l以下	0.001 未満	0.001 未満
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10mg/l以下	0.38	0.39
フッ素及びその化合物	0.8mg/l以下	0.08 未満	0.08 未満
ホウ素及びその化合物	1.0mg/l以下	0.10 未満	0.10 未満
四塩化炭素	0.002mg/l以下	0.0002 未満	0.0002 未満
1, 4-ジオキサン	0.05mg/l以下	0.005 未満	0.005 未満
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/l以下	0.004 未満	0.004 未満
ジクロロメタン	0.02mg/l以下	0.002 未満	0.002 未満
テトラクロロエチレン	0.01mg/l以下	0.001 未満	0.001 未満
トリクロロエチレン	0.01mg/l以下	0.001 未満	0.001 未満
ベンゼン	0.01mg/l以下	0.001 未満	0.001 未満
塩素酸	0.6mg/l以下	0.06 未満	0.06 未満
クロロ酢酸	0.02mg/l以下	0.002 未満	0.002 未満
クロロホルム	0.06mg/l以下	0.001 未満	0.001 未満
ジクロロ酢酸	0.03mg/l以下	0.002 未満	0.002 未満
ジブロモクロロメタン	0.1mg/l以下	0.001 未満	0.002 未満
臭素酸	0.01mg/l以下	0.001 未満	0.001 未満
総トリハロメタン	0.1mg/l以下	0.001 未満	0.002 未満
トリクロロ酢酸	0.03mg/l以下	0.002 未満	0.002 未満
ブロモジクロロメタン	0.03mg/l以下	0.001 未満	0.001 未満
ブロモホルム	0.09mg/l以下	0.001 未満	0.001 未満
ホルムアルデヒド	0.08mg/l以下	0.008 未満	0.008 未満
亜鉛及びその化合物	1.0mg/l以下	0.008	0.005 未満
アルミニウム及びその化合物	0.2mg/l以下	0.02 未満	0.02 未満
鉄及びその化合物	0.3mg/l以下	0.03 未満	0.03 未満
銅及びその化合物	1.0mg/l以下	0.005	0.008
ナトリウム及びその化合物	200mg/l以下	10.7	10.7
マンガン及びその化合物	0.05mg/l以下	0.005 未満	0.005 未満
塩化物イオン	200mg/l以下	12.4	12.6
カルシウム、マグネシウム等（硬度）	300mg/l以下	24.7	25.6
蒸発残留物	500mg/l以下	69	72
陰イオン界面活性剤	0.2mg/l以下	0.02 未満	0.02 未満
ジオスミン	0.00001mg/l以下	0.000001 未満	0.000001 未満
2-メチルイソボルネオール	0.00001mg/l以下	0.000001 未満	0.000001 未満
非イオン界面活性剤	0.02mg/l以下	0.002 未満	0.002 未満
フェノール類	0.005mg/l以下	0.0005 未満	0.0005 未満
有機物等(全有機炭素(TOC)の量)	3mg/l以下	0.3 未満	0.3 未満
pH値	5.8以上8.6以下	6.6	6.7
味	異常でない	異常なし	異常なし
臭気	異常でない	異常なし	異常なし
色度	5度以下	0.5 未満	0.5 未満
濁度	2度以下	0.1 未満	0.1 未満
残留塩素(参考値)		0.42	0.27
導電率		107	109

(2) 原水

(平成30年6月21日採水)

分 析 項 目	No. 1取水井	No. 2取水井	No. 3取水井	No. 4取水井	No. 5取水井
一般細菌	0	0	0	0	0
大腸菌	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性
カドミウム及びその化合物	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満	0.0003 未満
水銀及びその化合物	0.00005 未満	0.00005 未満	0.00005 未満	0.00005 未満	0.00005 未満
セレン及びその化合物	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
鉛及びその化合物	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
ヒ素及びその化合物	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
六価クロム化合物	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満
亜硝酸態窒素	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満
シアン化物イオン及び塩化シアン	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	0.51	0.41	0.34	0.29	0.39
フッ素及びその化合物	0.08 未満	0.08 未満	0.08 未満	0.08 未満	0.08 未満
ほう素及びその化合物	0.10 未満	0.10 未満	0.10 未満	0.10 未満	0.10 未満
四塩化炭素	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満	0.0002 未満
1, 4-ジオキサン	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満	0.004 未満
ジクロロメタン	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満
テトラクロロエチレン	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
トリクロロエチレン	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
ベンゼン	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満
亜鉛及びその化合物	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満
アルミニウム及びその化合物	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満
鉄及びその化合物	0.03 未満	0.03 未満	0.40	0.07	0.05
銅及びその化合物	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満
ナトリウム及びその化合物	8.7	9.4	9.5	9.7	9.5
マンガン及びその化合物	0.005	0.007	0.132	0.018	0.005 未満
塩化物イオン	12.3	10.8	10.5	10.6	10.8
カルシウム、マグネシウム等 (硬度)	31.1	23.0	24.5	24.2	21.9
蒸発残留物	76	67	69	82	65
陰イオン界面活性剤	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満
ジェオスミン	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満
2-メチルイソボルネオール	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満	0.000001未満
非イオン界面活性剤	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満	0.002 未満
フェノール	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満
有機物等(マンガン酸カリウム消費量)	0.3 未満	0.3	0.3	0.3	0.3 未満
pH値	6.5	6.7	6.6	6.7	6.7
臭気	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
色度	0.5 未満	0.5 未満	6.6	0.6	0.5
濁度	0.1 未満	0.1 未満	0.3	0.1 未満	0.1 未満
導電率	120	105	110	108	104
大腸菌(最確数)	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満	1 未満
嫌気性芽胞菌	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性

Ⅲ 財 務 状 況

Ⅲ 財 務 状 況

1. 平成30年度 決算書

(1)収益の収入及び支出

(単位：円 税込)

区 分	予 算 額	決 算 額	(内 消 費 税)
営 業 収 益	696,368,000	718,157,726	56,621,750
営 業 外 収 益	89,339,000	89,401,956	76,089
特 別 利 益	0	6,090	450
収 入 合 計	785,707,000	807,565,772	56,698,289
営 業 費 用	638,797,000	598,935,675	16,161,452
営 業 外 費 用	112,393,600	111,531,414	0
特 別 損 失	1,000,000	824,839	61,106
予 備 費	493,400	0	0
支 出 合 計	752,684,000	711,291,928	16,222,558

(2)資本の収入及び支出

(単位：円 税込)

区 分	予 算 額	決 算 額	(内 消 費 税)
企 業 債	145,000,000	140,000,000	0
工 事 負 担 金	5,712,000	2,269,177	0
負 担 金	7,380,000	6,702,180	0
他 会 計 負 担 金	35,087,000	35,087,553	0
長 期 貸 付 金 返 戻 金	46,400,000	46,400,000	0
収 入 合 計	239,579,000	230,458,910	0
建 設 改 良 費	258,924,000	211,339,364	12,681,587
企 業 債 償 還 金	279,018,000	279,017,368	0
予 備 費	5,000,000	0	0
支 出 合 計	542,942,000	490,356,732	12,681,587

２．損益計算書

(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

(単位：円・％)

借 方			貸 方		
科 目	金 額	構 成 比	科 目	金 額	構 成 比
営 業 費 用	582,774,223	77.6	営 業 収 益	661,535,976	88.1
原水及び浄水費	75,147,545	10.0	給 水 収 益	585,281,090	77.9
配水及び給水費	88,634,776	11.8	そ の 他 営 業 収 益	76,254,886	10.2
総 係 費	103,347,256	13.8	営 業 外 収 益	89,326,916	11.9
減 価 償 却 費	311,363,298	41.5	受取利息及び配当金	1,755,209	0.2
資 産 減 耗 費	4,281,348	0.5	他 会 計 負 担 金	13,686,176	1.8
その他営業費用	0	-	長期前受金戻入	72,155,923	9.7
営 業 外 費 用	83,952,814	11.2	雑 収 益	1,729,608	0.2
支払利息及び企業債取扱諸費	83,925,927	11.2	特 別 利 益	5,640	0.0
雑 支 出	26,887	0.0	過年度損益修正益	5,640	0.0
特 別 損 失	763,733	0.1			
過年度損益修正損	763,733	0.1			
[当年度純利益]	83,377,762	11.1			
合 計	750,868,532	100.0	合 計	750,868,532	100.0

* 表中の金額には消費税は含まない。



第 8 配水池門扉



3. 貸借対照表

(平成 31 年 3 月 31 日)

(単位：円・%)

借 方			貸 方		
科 目	金 額	構成比	科 目	金 額	構 成 比
固 定 資 産	7,365,218,072	90.1	固 定 負 債	3,416,503,565	41.8
有形固定資産	7,157,103,107	87.5	企 業 債	3,412,645,882	41.7
土 地	322,274,777	3.9	引 当 金	3,857,683	0.1
建 物	406,298,985	5.0	流 動 負 債	425,934,401	5.2
構 築 物	5,778,064,454	70.7	企 業 債	296,785,438	3.6
機械及び装置	623,996,662	7.6	未 払 金	117,859,231	1.4
車両運搬具	2,220,585	0.0	引 当 金	6,537,000	0.1
工具器具及び備品	4,288,976	0.1	その他流動負債	4,752,732	0.1
建 設 仮 勘	19,958,668	0.2	繰 延 収 益	1,130,714,732	13.8
投資その他資産	208,114,965	2.6	長 期 前 受 金	2,681,405,326	32.8
投資有価証券	4,965	0.0	うち収益化累計額	△1,550,690,594	△19.0
出 資 金	110,000	0.0	(負 債 合 計)	4,973,152,698	60.8
長期貸付金	208,000,000	2.6	資 本 金	1,414,162,098	17.3
流 動 資 産	810,370,739	9.9	自 己 資 本 金	1,414,162,098	17.3
現 金 預 金	665,069,756	8.1	剰 余 金	1,788,274,015	21.9
未 収 金	139,633,349	1.7	資 本 剰 余 金	43,431,625	0.6
貸倒引当金	△1,158,682	△0.0	寄 付 金	61,130	0.0
貯 蔵 品	6,826,316	0.1	負 担 金	11,206,190	0.1
			工 事 負 担 金	5,330,388	0.1
			加 入 金	13,691,482	0.2
			補 償 金	157,032	0.0
			他会計負担金	12,753,847	0.2
			補 助 金	231,556	0.0
			利 益 剰 余 金	1,744,842,390	21.3
			減 債 積 立 金	53,914,866	0.6
			未処分利益剰余金	1,690,927,524	20.7
			(資 本 合 計)	3,202,436,113	39.2
資 産 合 計	8,175,588,811	100.0	負 債 資 本 合 計	8,175,588,811	100.0

* 表中の金額は消費税決算処理後の金額である。

4. 損益計算の推移

年 度	事 業 収 益	事 業 費 用	費 用 の		
			人 件 費	動 力 費	修 繕 費
平成 14 年度	864,416	806,535	119,425	38,155	8,014
平成 15 年度	794,183	761,763	119,135	36,810	13,530
平成 16 年度	783,792	732,477	112,632	37,221	7,383
平成 17 年度	809,766	719,302	95,704	37,744	6,704
平成 18 年度	786,238	724,320	81,921	39,383	11,824
平成 19 年度	741,341	667,127	79,671	40,537	11,449
平成 20 年度	695,290	640,027	78,835	43,363	11,724
平成 21 年度	665,169	576,053	72,902	39,224	19,017
平成 22 年度	677,811	595,563	66,073	41,449	8,013
平成 23 年度	627,536	623,854	63,890	36,318	48,812
平成 24 年度	631,645	669,733	76,962	37,665	41,972
平成 25 年度	639,877	666,555	68,118	40,472	47,162
平成 26 年度	712,906	670,080	64,493	42,107	32,325
平成 27 年度	716,733	678,519	68,722	40,213	43,762
平成 28 年度	744,069	673,599	68,592	37,345	45,152
平成 29 年度	747,126	685,904	69,654	42,558	56,704
平成 30 年度	750,869	667,491	60,249	46,341	64,030

(単位：千円)

構		成		給 水 原 価	供 給 単 価
減価償却費	支 払 利 息	受託工事費	そ の 他 費 用		
220,214	197,946	114,961	107,820	141.32	138.36
206,406	186,574	62,935	136,373	147.34	138.89
217,193	180,110	64,528	118,410	140.53	137.61
213,244	167,880	65,274	132,752	135.29	137.52
215,431	153,507	84,598	137,656	132.62	138.32
215,847	139,696	28,360	151,567	134.11	138.42
219,408	127,122	19,779	139,796	133.72	136.32
220,920	118,439	0	105,551	125.67	135.63
236,045	117,756	0	126,277	127.00	136.08
258,907	125,106	0	90,821	156.14	142.41
316,753	124,506	0	71,875	167.97	142.95
316,874	113,437	0	80,492	165.57	142.17
317,468	110,482	0	103,205	145.90	143.38
326,295	105,148	0	94,379	15,080	142.81
312,478	98,433	0	111,599	149.27	143.22
318,448	91,875	0	106,665	147.35	143.40
311,363	83,926	0	101,582	146.08	143.80

5. 財務比率・経営比率

区 分		算 式	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
1	普 及 率	$\frac{\text{現 在 給 水 人 口}}{\text{行政区域内現在人口}}$	% 98.2	% 98.3	% 98.4	% 99.6	% 99.6
2	平 均 有 収 量	$\frac{\text{1 日 平 均 有 収 水 量}}{\text{現 在 給 水 人 口}}$	リットル 291.4	リットル 290.5	リットル 293.2	リットル 294.7	リットル 291.7
3	有形固定資産 減 価 償 却 率	$\frac{\text{有形固定資産減価償却累計額}}{\text{償却対象資産帳簿原価}}$	% 42.8	% 44.9	% 46.3	% 47.4	% 49.0
4	施 設 利 用 率	$\frac{\text{1 日 平 均 配 水 量}}{\text{1 日 配 水 能 力}}$	% 59.4	% 60.0	% 60.1	% 61.9	% 61.8
5	有 収 率	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総配水量}}$	% 90.0	% 89.1	% 89.6	% 89.0	% 89.0
6	配 水 管 使 用 効 率	$\frac{\text{年間総配水量}}{\text{導送配水管延長}}$	% 9.7	% 9.8	% 9.7	% 9.7	% 9.6
7	最 大 稼 動 率	$\frac{\text{1 日 最 大 配 水 量}}{\text{1 日 配 水 能 力}}$	% 63.9	% 67.8	% 66.4	% 88.8	% 67.6
8	負 荷 率	$\frac{\text{1 日 平 均 配 水 量}}{\text{1 日 最 大 配 水 量}}$	% 92.9	% 88.5	% 90.6	% 69.7	% 91.5
9	総 収 支 比 率	$\frac{\text{総 収 益}}{\text{総 費 用}}$	% 106.4	% 105.6	% 110.5	% 108.9	% 112.5
10	経 常 収 支 比 率	$\frac{\text{営業収益+営業外収益}}{\text{営業費用+営業外費用}}$	% 108.3	% 105.5	% 110.5	% 110.1	% 112.6
11	累積欠損金比率	$\frac{\text{累 積 欠 損 金}}{\text{営業収益-受託工事収益}}$	% 0	% 0	% 0	% 0	% 0
12	繰入金比率 (収益の収入分)	$\frac{\text{損益勘定繰入金}}{\text{収 益 の 収 入}}$	% 2.2	% 2.3	% 2.1	% 2.0	% 1.8
13	繰入金比率 (資本的収入分)	$\frac{\text{資本勘定繰入金}}{\text{資 本 的 収 入}}$	% 15.9	% 21.5	% 15.2	% 19.2	% 15.2
14	職員一人当り 給 水 人 口	$\frac{\text{現 在 給 水 人 口}}{\text{損益勘定職員数}}$	人 6,148	人 6,164	人 6,154	人 6,318	人 6,371
15	職員一人当り 給水収益	$\frac{\text{給 水 収 益}}{\text{損益勘定職員数}}$	千円 93,741	千円 93,592	千円 94,303	千円 97,437	千円 97,547
16	給水収益に対する割合 (うち職員給与費)	$\frac{\text{職 員 給 与 費}}{\text{給 水 収 益}}$	% 9.8	% 10.6	% 10.5	% 10.3	% 10.3

* 規模別全国平均は、水源別・給水人口 3 万人以上 5 万人未満の事業体の平均値をいう。

平成 29 年 規模別全国平均	備 考
79.8	給水人口規模の大きい事業ほど都市部の占める割合が比較的高いため、普及率も高くなる。
302.0	都市部を抱える給水人口規模の大きい事業においては、業務用の大口使用の影響により有収水量が多くなっている。
47.3	資産の減価償却の割合を示す比率で、減価償却の進み具合や資産の経過年数を示す。資金の内部留保がどの程度かを示し資金計画策定上でも重要な判断材料である。
58.4	水道施設の利用状況を総合的に判断する指標。この数値が高いほど経済的であるが、負荷率・最大稼働率と併せて施設規模をみることが大切である。
82.2	施設の稼働状況がそのまま収益につながっているかについて確認するための重要な指標。 有収率が高いのは老朽管更新等による漏水防止対策が進んでいるといえる。
11.5	施設の効率性を示す指標で、給水区域内における人口密度の影響をうける。 。
74.7	計画に対する施設利用効率を示す指標。この数値が低いと施設が遊休状態であり過大投資と言える、一方 100%に近いと安定的な給水が問題となる。
78.3	施設の効率性を示す指標。 水道事業は季節によって需要変動のある事業であり、この数値が高いほど効率的である。
110.8	企業の収益性を示す指標。総費用が総収益によってどの程度賄われているかを示し、これが 100%以上であれば良好な収支といえる。
110.5	企業の経常的な活動における収益性を示す指標。経常費用が経常収益によってどの程度賄われているかを示し、100%以上で高いほど利益率が良い。
4.0	事業体の経営状況が健全な状態にあるかを把握しようとするものである。
7.3	収益的収入における繰入金依存度を分析するものである。
23.4	資本的収入における繰入金依存度を分析するものである。
人 3,276	労働生産性を分析する指標 職員数と業務量について給水人口で比較した比率。損益勘定所属職員で、平成 30 年度は 6 名である。
千円 59,761	労働生産性を分析する指標 職員数と業務量について営業収益で比較した比率。
% 12.0	給水収益と比較した場合の職員給与費用の比率。

区 分		算 式	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
17	給水収益に対する割合 (うち企業債利息)	$\frac{\text{企 業 債 利 息}}{\text{給 水 収 益}}$	% 19.6	% 18.7	% 17.4	% 15.7	% 14.3
18	給水収益に対する割合 (うち減価償却費)	$\frac{\text{減 価 償 却 費}}{\text{給 水 収 益}}$	% 56.4	% 58.1	% 55.2	% 54.5	% 53.2
19	料 金 回 収 率	$\frac{\text{供 給 単 価}}{\text{給 水 原 価}}$	% 98.3	% 94.7	% 96.0	% 97.3	% 98.4
20	一ヶ月当り家庭 用料金(20 m³)		円 2,647	円 2,647	円 2,647	円 2,647	円 2,647
21	流 動 比 率	$\frac{\text{流 動 資 産}}{\text{流 動 負 債}}$	% 170.5	% 182.9	% 181.7	% 190.8	% 190.3
22	当 座 比 率	$\frac{\text{現金・預金+ (未収金-貸倒引当金)}}{\text{流 動 負 債}}$	% 168.7	% 180.9	% 179.8	% 188.9	% 188.7
23	自 己 資 本 構 成 比 率	$\frac{\text{自己資本金+剰余金+繰延収益}}{\text{負 債 資 本 合 計}}$	% 48.5	% 49.6	% 50.4	% 51.9	% 53.0
24	固 定 資 産 対 長 期 資 本 比 率	$\frac{\text{固 定 資 産}}{\text{資本金+剰余金+固定負債+繰延収益}}$	% 96.5	% 96.2	% 96.1	% 95.7	% 95.0
25	資 本 費	$\frac{\text{企業債利息+減価償却費-長期前受金戻入}}{\text{年間総有収水量}}$	円 87.3	円 88.0	円 82.9	円 81.6	円 79.4
26	営 業 収 支 比 率	$\frac{\text{営業収益-受託工事収益}}{\text{営業費用-受託工事費用}}$	% 111.0	% 106.4	% 111.4	% 111.1	% 113.5
27	自己資本回転率	$\frac{\text{営業収益-受託工事収益}}{(\text{期首自己資本金+期末自己資本金}) \div 2}$	回 0.15	回 0.15	回 0.16	回 0.16	回 0.15
28	企業債償還元金対 減価償却費比率	$\frac{\text{企 業 債 償 還 元 金}}{\text{当年度減価償却費-長期前受金戻入}}$	% 92.9	% 97.6	% 113.2	% 111.8	% 116.6
29	職員給与費対営 業収益率	$\frac{\text{職 員 給 与 費}}{\text{営業収益-受託工事収益}}$	% 9.1	% 9.7	% 9.3	% 9.3	% 9.1
30	給 水 原 価	$\frac{\text{経常費用-(受託工事費+材料売却原価)-長期前受金戻入}}{\text{年 間 総 有 収 水 量}}$	円 145.9	円 150.8	円 149.3	円 147.4	円 146.1
31	供 給 単 価	$\frac{\text{給 水 収 益}}{\text{年間総有収水量}}$	円 143.4	円 142.8	円 143.2	円 143.4	円 143.8

平成 29 年 規模別全国平均	備 考
9.7	給水収益と比較した場合の企業債利息の比率。全国平均よりも上回っているのは、更新工事を行っていることによる。
52.2	給水収益と比較した場合の減価償却費の比率。全国平均よりも上回っているのは、更新工事を行っていることによる。第2期増補改良事業完了、簡易水道統合によりアップした。
97.2	供給単価と給水原価との関係をみる指標。 数値が 100% 以下の場合、給水にかかる費用が水道料金による収入以外の収入で賄われていることになる。
3,016	
348.5	流動負債に対する流動資産の割合であり、短期債務に対する支払能力を表わした指標。 比率が 100% を下回っていれば不良債務が発生していることになる。
342.2	支払義務としての流動負債に対する支払手段としての当座資金の割合であり、流動比率の補助的な比率。 流動比率との差は当座資産等の割合の差を示し、短期債務に対する直接的な支払能力を表している。
64.4	総資本(負債・資本)に占める自己資本(自己資本金・剰余金・繰延収益)の割合を示す比率。 建設費の大部分を企業債で調達しているが、事業経営の安定化を図るには、自己資本の造成が必要である。
90.2	固定資産がどの程度長期の資本で調達されているかを示し、事業の固定的・安定的安全性をみる指標。
87.8	有収水量 1 m ³ 当りの製造原価のうち減価償却費及び企業債利息の額
97.2	営業活動における収益性をみるための指標。営業費用が営業収益によってどの程度賄われているかを示し、数値が 100% 以上で高いほど利益率が良い。
0.11	自己資本に対する営業収益の割合であり、期間中に自己資本の何倍の営業収益があったかを示すものである。 この比率が高いほど投下資本に比して営業活動が活発であることを意味する。
84.9	減価償却費で企業債償還元金をまかなえるかを示し、投下資本の回収と再投資との間のバランスを見る指標。 この比率が 100% を超えると再投資を行うにあたって外部資金に頼らざるを得なくなり投資の健全性を失う。
11.6	営業収益に対する職員給与費の割合を示す指標。
170.2	有収水量 1 m ³ 当りの製造原価であり、費用を抑制し有収水量を増やせば低くできるが、供給単価を大きく上回ると赤字の要因となる。
165.4	水道事業の公益性から見ると出来るだけ低いほうが良いが、給水原価を下回ると収益性が悪化し問題である。

6. 料金原価

(平成30年度)

給水原価

経常費用—(受託工事費+材料売却原価+長期前受金戻入) 666,727,037 円-(0 円+0 円+72,155,923 円)

$$\frac{\text{有 収 水 量(m}^3\text{)}}{4,070,165} = \frac{\text{給水原価}}{146 \text{ 円 } 08 \text{ 銭}}$$

給水原価 146 円 08 銭	営業費用 582,774,223 円 143 円 18 銭	— 原水及び浄水費	75,147,545 円	18 円 46 銭
		— 配水及び給水費	88,634,776 円	21 円 78 銭
		— 総 係 費	103,347,256 円	25 円 39 銭
		— 減 価 償 却 費	311,363,298 円	76 円 50 銭
		— 資 産 減 耗 費	4,281,348 円	1 円 05 銭
	営業外費用 83,952,814 円 20 円 63 銭	— 支払利息及び企業債取扱諸費	83,925,927 円	20 円 62 銭
		— 雑 支 出	26,887 円	0 円 01 銭
	— 営業外収益—長期前受金戻入 △72,155,923 円 △17 円 73 銭		△72,155,923 円	△17 円 73 銭

供給単価

$$\frac{\text{給 水 収 益 (円)} \quad 585,281,090}{\text{有 収 水 量 (m}^3\text{)} \quad 4,070,165} = 143 \text{ 円 } 80 \text{ 銭}$$

* 税抜き金額

* 経常費用=営業費用+営業外費用

IV 工業用水道事業

IV 工業用水道事業の概要

1. 工業用水道事業のあゆみ

斐川町の誘致企業等に工業用水の供給を行うことを目的に、昭和 63 年 9 月 30 日付けで通商産業大臣（63 立第 1992 号・S63.12.21 受理）に工業用水道事業の届出をしました。本工業用水事業は、上水道水源地の下流部の地下水を水源とし、全体計画では口径 1,000mm のさく井を 6 本築造し、計画取水量 20,000 m³、計画給水量 18,600 m³を供給する事業です。

第 1 期工事は平成元年 2 月から着手し、計画配水量 6,500 m³で取水井 2 本、貯水池 1 池を築造し、平成 2 年 6 月 1 日から榑出雲村田製作所に供給を開始しました。

その後、榑出雲村田製作所への 1 日最大給水量の増大と、榑島根富士通への供給開始のため、平成 13 年度から第 2 期工事に着手し、第 3 取水井の新設による安定取水を図ると共に、榑島根富士通への配水管布設工事を施行し、平成 15 年 6 月から榑島根富士通への給水を開始しました。

老朽化した施設の更新と安定給水のため、平成 23 年度から第 3 期工事（電気機械設備工事、配水管布設工事、取水井作井工事）がスタートし、平成 25 年度に電気機械設備工事と配水管布設工事が完了し、旧上水道第 6 配水池（直江町 V_e=3,000 m³）を利用した自然流下方式での配水を開始しました。

2. 事業の実施状況

事業名 項目	全 体 計 画	第 1 期 事 業	第 2 期 事 業	第 3 期 事 業
届出年月日	昭和63年9月30日	-	-	-
1日最大取水量	20,000m ³	6,500m ³	9,000m ³	9,000m ³
1日最大給水量	18,600m ³	6,045m ³	8,370m ³	8,370m ³
着工年月日	平成59年12月24日	平成元年 2 月 4日	平成13年 5 月 9日	平成23年7月21日
竣工年月日	平成 年 月 日	平成 2年 5 月31日	平成14年 3 月31日	平成27年3月31日
事業費	1,144,348千円	801,502千円	170,000千円	523,777千円
主要設備	* 取水施設 取水井 →6井 導水管 φ200～φ350 578m	* 取水施設 取水井 →2井(№1、№2) 導水管 φ200～φ250 135m	* 取水施設 取水井 →1井(№3) 導水管φ250～φ350 443m	* 送水施設 ポンプ更新 3基 送水管 φ 450 49m
	* 配水施設 配水池→1池(1,000 m ³) 配水管 φ500 1,690m φ450 4,110m φ400 640m φ350 2,550m	* 配水施設 貯水池→1池(1,000 m ³) 配水管 φ500 1,690m φ350 2,550m	* 配水施設 配水管 φ 100 2,050m	受電・制御盤更新 1式 既設第6配水池送水管利用 既設第6配水池(3,000 m ³) (既設第6配水池利用) 配水管 φ 300～φ 350 1,708m
	* 水源管理室 鉄骨平屋建て 425 m ²	* 水源管理室 鉄骨平屋建て 425 m ²		

3. 平成30年度の事業概要

平成23年度から26年度において、安定した配水方式に改善を図る第3期改良事業に設備投資を行ったため、厳しい経営が予想されましたが、一方では平成26年度から段階的に基本使用水量を増量したことにより給水収益が増収となりました。今後も安定的な経営基盤の確立に向けて経費節減に努めるとともに、財政収支計画に基づいた健全経営を行ってまいります。

(財政の状況)

収益的収支(消費税抜)については、事業収益116,624千円に対し、事業費用80,139千円となり当年度の損益は36,485千円の純利益となりました。

前年度と比較すると事業収益は、41,820千円の減となっており、その主たる理由は特別利益の減によるものです。

事業費用については、6,171千円の減となっており、その主たる理由は、取水井修繕費の減少によるものです。

次に、資本的収支(消費税込)については、収入が6,231千円(他会計負担金)となり、支出は61,110千円となりました。なお、資本的収支の差引不足額54,879千円については、過年度分損益勘定留保資金で補填しました。

4. 令和元年度 事業計画

(1) 業務予定量(当初予算書)

年間総給水量	2,046,000 m ³
1日平均給水量	5,590 m ³
給水件数	2件

(2) 予算(当初)概要

収益的収入及び支出		
	事業収益	128,235千円
	事業費用	96,562千円
資本的収入及び支出		
	資本的収入	65,330千円
	資本的支出	153,526千円
資本的収支不足額への補てん財源		
	消費税資本的収支調整額	5,649千円
	損益勘定留保資金	82,547千円

5. 給水区域

出雲市斐川町出西、求院、神氷、上直江、直江、上庄原、三絡

6. 水道料金

(平成2年5月22日～)

給水の対象	1 給水当り 100 m ³ 以上
基本料金	48.60 円/m ³ (消費税込)
特定料金	48.60 円/m ³ (")
超過料金	54.00 円/m ³ (")

7. 施設概要

現有施設

施 設	施 設 概 要
出西配水ポンプ場 (取水井)	浅井戸 3 井 (スクリーン 内径 1.0m×深さ 14.77～16.54m×3 井)
(取水ポンプ)	水中ポンプ (口径 150 mm) Q=2.78～3.126 m ³ /分 H=21.0～23.0 P=18.5kw 3 台
(貯水池)	P C 造り 内径 15.00m 有効貯水量 1,000 m ³ 満水位標高 20.90m 有効水深 5.70m 低水位標高 15.20m
(送水ポンプ)	両吸込渦巻きポンプ (吸込口径 200・吐出口径 150 mm) 3 台 Q=4.0 m ³ /分 H=61.0m P=75kw
(水源池管理室)	鉄骨造り平屋建て (ポンプ室・電気室含む) 床面積 425.8 m ²
配水池 (旧上水道第6配水池借受)	P C 造り 内径 22.00m 有効貯水量 3,000 m ³ 満水位標高 56.00m 有効水深 8.00m 低水位標高 48.00m

配水管等の布設状況

(単位：m)

	管 種	平成 2 年度	平成 13 年度	平成 28 年度
導水管	ダクタイル鑄鉄管 φ 200 mm	22	22	91
	ダクタイル鑄鉄管 φ 250 mm	73	73	43
	ダクタイル鑄鉄管 φ 350 mm	40	145	148
	計	135	240	282
送水管 (上水道 借受延長含む)	ダクタイル鑄鉄管 φ 75 mm	0	0	8
	ダクタイル鑄鉄管 φ 200 mm	0	0	33
	ダクタイル鑄鉄管 φ 400 mm	0	0	36
	ダクタイル鑄鉄管 φ 450 mm	0	0	7,280
	ダクタイル鑄鉄管 φ 500 mm	0	0	2
	ダクタイル鑄鉄管 φ 600 mm	0	0	7
	ナイロンコーティング 鋼管 φ 600 mm	0	0	44
	計	0	0	7,410
配水管	ダクタイル鑄鉄管 φ 100 mm	0	0	42
	ダクタイル鑄鉄管 φ 200 mm	0	0	120
	ダクタイル鑄鉄管 φ 250 mm	0	0	332
	ダクタイル鑄鉄管 φ 300 mm	0	0	594
	ダクタイル鑄鉄管 φ 350 mm	2,550	2,550	1,629
	ダクタイル鑄鉄管 φ 400 mm	0	0	32
	ダクタイル鑄鉄管 φ 500 mm	1,690	1,690	0
	ダクタイル鑄鉄管 φ 600 mm	0	0	96
	塩化ビニール管 φ 100 mm	0	2,050	776
	ナイロンコーティング鋼管 φ 250 mm	0	0	6
	計	4,240	6,290	3,627
	ダクタイル鑄鉄管 φ 100 mm	0	0	10
	ダクタイル鑄鉄管 φ 300 mm	0	0	2,561
予備管	ダクタイル鑄鉄管 φ 350 mm	0	0	12
	ダクタイル鑄鉄管 φ 400 mm	0	0	35
	ダクタイル鑄鉄管 φ 450 mm	0	0	1,672
	ダクタイル鑄鉄管 φ 500 mm	0	0	812
	塩化ビニール管 φ 100 mm	0	0	3
	ナイロンコーティング鋼管 φ 150mm	0	0	27
	ナイロンコーティング鋼管 φ 400mm	0	0	20
	ナイロンコーティング鋼管 φ 500mm	0	0	5,178
	計			
	合計	4,375	6,530	16,497

8. 業務概要

	年間総配水量 (m ³)	1日平均配水量 (m ³)	1日最大配水量 (m ³)	年間有収水量 (m ³)	電力使用量 (kw h)
平成 14 年度	1,241,549	3,402	10/14 4,018	1,203,206	366,862
平成 15 年度	1,308,656	3,585	6/28 5,273	1,296,318	362,219
平成 16 年度	1,523,411	4,174	9/14 6,404	1,501,533	439,093
平成 17 年度	1,211,449	3,319	9/12 4,807	1,192,947	398,026
平成 18 年度	1,347,477	3,692	8/29 5,837	1,311,088	436,753
平成 19 年度	1,460,097	3,989	9/21 5,920	1,434,795	356,920
平成 20 年度	1,142,209	3,129	8/7 5,116	1,165,582	408,447
平成 21 年度	1,128,062	3,091	8/28 4,645	1,135,770	389,419
平成 22 年度	1,459,152	3,998	8/19 6,215	1,446,100	474,035
平成 23 年度	1,480,831	4,046	9/28 5,571	1,456,474	416,807
平成 24 年度	1,582,231	4,323	8/3 5,964	1,541,607	506,064
平成 25 年度	1,461,220	3,992	4/10 5,900	1,443,026	503,888
平成 26 年度	1,477,504	4,181	7/25 4,941	1,510,715	651,480
平成 27 年度	1,754,425	4,794	9/29 6,673	1,714,554	741,486
平成 28 年度	1,829,946	5,014	9/27 6,849	1,820,455	793,224
平成 29 年度	1,929,987	5,288	8/5 7,081	1,916,459	829,044
平成 30 年度	2,133,601	5,845	10/6 7,157	2,089,866	865,830

9.財務状況

(1)平成30年度 決算書

収益の収入及び支出

(単位：円 税込)

区 分	予 算 額	決 算 額	(内 消 費 税)
営 業 収 益	104,057,000	107,673,579	7,975,811
営 業 外 収 益	16,918,000	16,925,990	0
特 別 利 益	1,485,000	0	0
収 入 合 計	122,460,000	124,599,569	7,975,811
営 業 費 用	76,569,000	71,874,213	1,438,044
営 業 外 費 用	16,538,400	16,537,379	0
予 備 費	1,674,600	0	0
支 出 合 計	94,782,000	88,411,592	1,438,044

資本の収入及び支出

(単位：円 税込)

区 分	予 算 額	決 算 額	(内 消 費 税)
企 業 債	7,000,000	0	0
他 会 計 負 担 金	6,230,000	6,230,931	0
収 入 合 計	13,230,000	6,230,931	0
建 設 改 良 費	10,235,000	0	0
企 業 債 償 還 金	14,710,000	14,709,603	0
長 期 借 入 金 償 還 金	46,400,000	46,400,000	0
予 備 費	1,000,000	0	0
支 出 合 計	72,345,000	61,109,603	0

(2) 損益計算書(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(単位：円・% 税抜)

借 方			貸 方		
科 目	金 額	構成比	科 目	金 額	構成比
営 業 費 用	70,436,169	60.4	営 業 収 益	99,697,768	85.5
原水及び浄水費	26,922,070	23.1	給 水 収 益	99,697,768	85.5
配水及び給水費	782,893	0.7	営 業 外 収 益	16,926,067	14.5
総 係 費	374,126	0.3	受取利息及び配当金	2,342	0.0
減 価 償 却 費	34,657,080	29.7	他 会 計 負 担 金	13,769,069	11.8
資 産 減 耗 費	7,700,000	6.6	長 期 前 受 金 戻 入	3,144,598	2.7
営 業 外 費 用	9,702,979	8.3	雑 収 益	10,058	0.0
支払利息及び企業債取扱諸費	9,702,979	8.3	特 別 利 益	0	0.0
雑 支 出	0	0.0			
特 別 損 失	0	—			
[当年度純利益]	36,484,687	31.3			
合 計	116,623,835	100.0	合 計	116,623,835	100.0

(3) 貸借対照表

(平成 31 年 3 月 31 日)

(単位：円・% 税抜)

借 方			貸 方		
科 目	金 額	構 成 比	科 目	金 額	構 成 比
固 定 資 産	663,109,195	74.0	固 定 負 債	688,559,893	76.8
有形固定資産	663,109,195	74.0	企 業 債	537,559,893	60.0
土 地	29,941,411	3.3	他会計借入金	151,000,000	26.8
建 物	34,815,037	3.9	流 動 負 債	81,878,132	9.1
構 築 物	347,464,047	38.8	企 業 債	22,137,121	2.5
機械及び装置	218,392,514	24.4	他会計借入金	57,000,000	6.4
車両運搬具	0	—	未 払 金	1,978,011	0.2
工具器具及び備品	26,316	0.0	引 当 金	763,000	0.0
建設仮勘定	32,469,870	3.6	繰 延 収 益	2,789,623	0.3
流 動 資 産	233,447,653	26.0	長 期 前 受 金	187,667,019	20.9
現 金 預 金	217,283,101	24.2	うち収益化累計額	△187,667,019	△20.9
未 収 金	16,164,552	1.8	建設仮勘定前受金	2,789,623	0.3
			(負 債 合 計)	773,227,648	86.2
			資 本 金	120,000,000	13.4
			繰入資本金	120,000,000	13.4
			剰 余 金	3,329,200	0.4
			資本剰余金	6,647,459	0.7
			他会計負担金	6,647,459	0.7
			欠 損 金	3,318,259	△0.3
			未処理欠損金	3,318,259	△0.3
			(資 本 合 計)	123,329,200	13.8
資 産 合 計	896,556,848	100.0	負 債 資 本 合 計	896,556,848	100.0



10.損益計算の推移

(単位：千円)

年 度	事業収益	事業費用	費 用 の 構 成					
			人件費	動力費	修繕費	減価償却費	支払利息	その他費用
平成14年度	71,640	83,010	(委託料) 3,809	5,243	920	31,772	39,359	1,916
平成15年度	74,995	83,909	(委託料) 3,809	5,040	735	35,029	38,480	816
平成16年度	72,895	88,525	(委託料) 3,809	5,806	276	35,040	36,109	7,485
平成17年度	58,666	81,893	(委託料) 3,809	5,458	2,422	35,101	34,196	907
平成18年度	63,990	73,570	(委託料) 3,809	5,458	2,422	35,101	34,196	907
平成19年度	69,141	72,344	(委託料) 3,809	6,814	100	30,019	29,991	1,611
平成20年度	78,910	72,430	(委託料) 3,809	6,536	1,255	30,024	27,641	3,165
平成21年度	76,586	68,814	(委託料) 3,809	5,754	2,891	30,016	25,134	1,210
平成22年度	79,452	69,437	委託料) 3,809	6,726	5,157	30,016	22,472	1,257
平成23年度	87,041	52,383	(委託料) 3,809	7,738	780	21,880	16,918	1,258
平成24年度	82,227	50,601	9,598	8,009	9,905	18,509	3,223	1,357
平成25年度	81,463	50,668	9,505	8,377	1,084	18,509	8,761	4,432
平成26年度	113,250	75,361	9,347	11,870	1,553	37,524	12,026	3,039
平成27年度	113,675	87,826	17,969	12,579	0	36,336	11,141	9,801
平成28年度	115,650	78,749	9,375	12,471	249	35,718	10,894	10,042
平成29年度	158,444	86,310	9,645	13,861	7,089	35,009	9,775	10,931
平成30年度	116,624	80,139	10,044	15,086	558	34,657	9,703	10,091

V 機 構 と 組 織

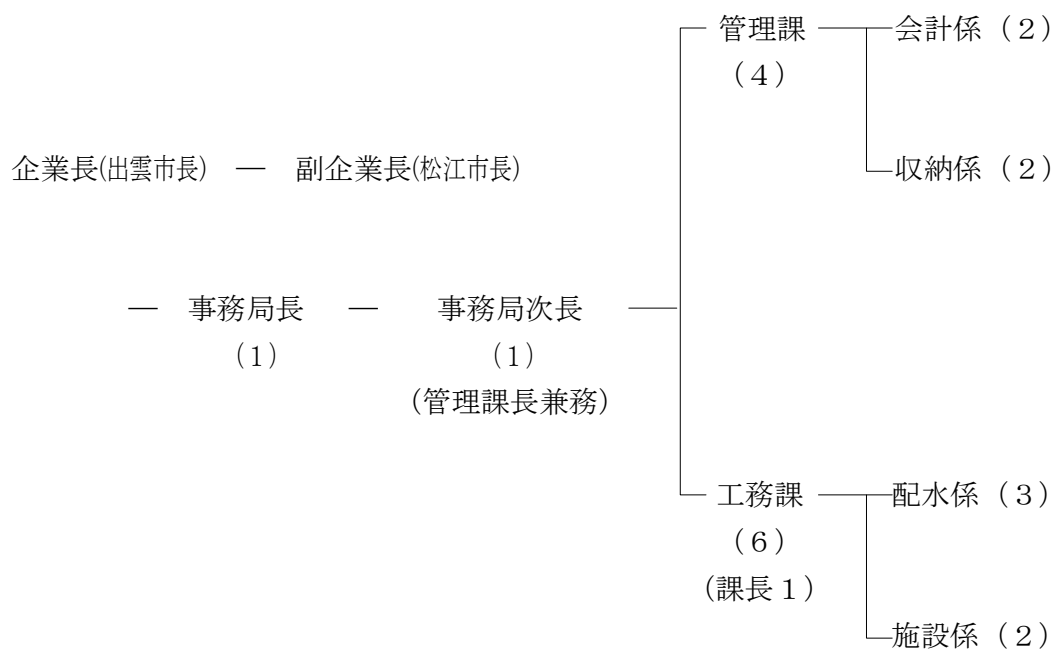
V 機構と組織

1. 機構図

平成30年度末現在

※（ ）内は人数

水道企業団（12）



(出西水源地)

嘱託職員 (1)

2. 事務分掌

(抜粋)

<管 理 課>

- (1) 条例規則等の制定改廃及び公告式に関すること。
- (2) 水道議会に関すること。
- (3) 儀式、渉外及び表彰に関すること。
- (4) 情報公開に関すること。
- (5) 職員の給与、労務、福利厚生及び研修に関すること。
- (6) 嘱託及び臨時職員に関すること。
- (7) 島根県市町村職員共済組合並びに総合事務組合に関すること。
- (8) 庁中取締り及び庁舎管理に関すること。
- (9) 財産の取得、処分及び管理に関すること。
- (10) 予算及び決算に関すること。
- (11) 出納員及び分任出納員に関すること。
- (12) 出納取扱金融機関及び収納取扱金融機関に関すること。
- (13) 監査に関すること。
- (14) 滞納処理に関すること。
- (15) 契約に関すること。
- (16) 広報、広聴に関すること。
- (17) 水道料金等の賦課、調定、通知、徴収に関すること。
- (18) 給水量の検針及び認定に関すること。
- (19) 給水の受付及び加入金、負担金、手数料の賦課徴収に関すること。
- (20) 給水装置の開栓、閉栓に関すること。
- (21) 計量器の受払い及び修理に関すること。
- (22) 貯蔵品（工事用資材を除く）の受払いに関すること。

<工 務 課>

- (1) 水道施設の建設改良の計画に関すること。
- (2) 水道用水の供給等に関すること。
- (3) 水道施設の維持管理に関すること。
- (4) 水道施設の調査設計及び工事施行に関すること。
- (5) 給水装置に関すること。
- (6) 計量器に関すること。
- (7) 水源地及び配水池の管理に関すること。
- (8) 配水記録の整理報告に関すること。
- (9) 水質保全及び水質管理に関すること。
- (10) 入札参加資格の認定等に関すること。
- (11) 指定給水装置工事業者の指定に関すること。

付 表

付 表

1. 水道年表

年 月 日	主 な 出 来 事
昭和 34. 4.	斐川村の大部分と宍道町の一部を給水区域に水道事業を創設 (計画給水人口 28,000 人、一日最大給水量 4,620 m ³)
34. 9.21 (1959)	島根県知事設置認可 斐川村 宍道町 水道組合が発足
34.12.11	厚生大臣経営許可(事業創設認可)
35. 3. (1960)	事業着手
36. 8.11 (1961)	一部供用開始
37. 3.31 (1962)	第 2 (旧第 1) 取水井・第 5 (旧第 2) 取水井新設 出西に 1,250 m ³ の第 1 配水池、佐々布に 50 m ³ の第 2 配水池完成
37. 4. 1 (1962)	供用開始
39. 3.31 (1964)	第 1 期拡張事業厚生省認可(4 月着工)
40. 3.31 (1965)	白石に 50 m ³ の第 3 配水池完成 宍道町西来待・小松、東来待・浜の未給水地区に配水管布設
41.10.30 (1966)	玉湯町と分水契約
42. 8.24 (1967)	平田市 (島村地区) と分水契約
43. 4. 1 (1968)	斐川町 宍道町 水道企業団に改称 (地方公営企業法適用)
45. 3.13 (1970)	第 2 期拡張事業厚生省認可(4 月着工) 第 1・4・6 取水井増設 出西に 2,000 m ³ の第 4 配水池、佐々布に 1,000 m ³ の第 5 配水池完成
48. 3.25 (1973)	第 2 期拡張事業完成 第 1・第 3 配水池を廃止
49. 4. 1 (1974)	増補改良事業に着手
50. 4. 1 (1975)	水道料金改定
51. 3.31 (1976)	白石加圧ポンプ場完成
52. 2.20 (1977)	来待バイパス線配水管布設完成 玉湯町分水の増量
52. 4. 1	水道料金改定
52. 6.20	倉敷受水槽 (1,000 m ³) 及び宍道配水ポンプ場設置
52. 7. 5 (1977)	第 3 期拡張事業着工 佐々布・白石・来待地区の 9 自治会を給水区域に編入した
53. 1. 30	水道企業団庁舎新築竣工
54.10. (1979)	第 3 取水井新設 (第三拡張事業) 直江町に 3,000 m ³ の第 6 配水池新設 (第三拡張事業) 荘原加圧ポンプ場を新設 (第三拡張事業) 遠距離集中監視制御システム導入 (第三拡張事業)
55. 4. 1	水道料金改定

年 月 日	主 な 出 来 事
55. 6.30	第 3 期拡張事業竣工
57. 4. 1 (1982)	水道料金改定 2 ヶ月検針・集金制度開始
59.12.24 (1984)	斐川町 宍道町 水道企業団 工業用水道事業創設、水道議会議決
60.12. (1985)	第 7 取水井新設
63. 9.30 (1988)	通商産業大臣へ工業用水道事業届出
63.12.21	工業用水道事業届出受理
63.12.	第 3 取水井更新
平成元. 2. 2 (1989)	工業用水道事業(第 1 期工事)着工
2. 4. 1 (1990)	増補改良事業 (第 1 期事業) 着工
2. 5.31	工業用水道事業(第 1 期工事)竣工
2. 6. 1	工業用水道(株)出雲村田製作所へ給水開始
3. 4. 1 (1991)	石綿セメント管の布設替着手
3.12.	第 6 取水井更新 (既存No.5、既存No.6 の 2 本の井戸を統合してNo.6 とし、No.5 の番号を廃止)
4. 4. (1992)	第 7 配水池 (V=10.000 m ³ 、G L=65.0m) 調査設計着手
5. 4. (1993)	第 8 配水池 (V=10.000 m ³ 、G L=63.0m) 調査設計着手
5.10.	第 7 配水池、荻田送水ポンプ場着工
6. 7.30 (1994)	第 7 配水池、荻田送水ポンプ場完成 庄原ポンプ場、倉敷受水槽、宍道ポンプ場、白石ポンプ場を閉鎖 第 2・第 5 配水池を廃止 第 4・第 7 配水地に緊急遮断弁を設置
7. 4.11 (1995)	菅原地区簡易水道に分水開始
7. 9. 5	佐々布旭・畑地区簡易水道に分水開始
9. 3.10 (1997)	第 1 取水井更新
10. 4. 1 (1998)	濁度計 (ウォーターアナライザー) 導入
12. 3.31 (2000)	増補改良事業 (第 1 期事業) 竣工
12. 4. 1	水道料金改定 増補改良事業 (第 2 期事業) 着工 設計・積算システム導入
13. 2.20 (2001)	第 2 取水井更新
13. 4. 1	下倉配水池、久戸調整池、ポンプ場 (鏡・弘長寺・久戸・湖南台・下倉・岡の目・小佐々布) の施設を宍道町から移管
13. 8.10	出西水源地記念館改修工事竣工
13. 9	工業用水道事業(第 2 期工事)着工
13. 9.12	工業用水道No.3 取水井新設 (13.11. 1 供用開始)
13.	工業用水(株)島根富士通へ配水管布設工事
14.3.31	工業用水道事業(第 2 期工事)竣工

年 月 日	主 な 出 来 事
14. 3.15(2002)	水道局駐車場増設 (284.0 m ²)
14.10	出西水源地用地購入(1,310 m ²)
14.12.20	工水ポンプ場建屋改修工事
15. 1.18～30	平成 15 年 1 月末寒波被害
(2003)	(損失水量/8,500 m ³ ・配水管破損/16 件・宅内給水装置破損/770 件)
15. 2.21	水道システム導入
15. 3.10	水道マッピングシステム導入
15. 3.25	工業用水テレメーター改修工事竣工
15. 4. 1	宍道支所業務を宍道町へ委託
15. 6. 1	工業用水(株)島根富士通へ供給開始
15. 8.12	第 8 配水池送水管布設工事着工
16. 1.22～23	平成 16 年 1 月寒波被害
(2004)	(最低気温－4.9℃・損失水量 9,000 m ³ ・配水管破損 3 件・宅内給水装置破損 350 件・平田市へ給水応援)
16. 3.25	水道企業団議会「合併に関する特別委員会」設置
17. 2. 1(2005)	宍道町水道料金システムを企業団に移行
17.2.3	島根県知事 斐川町宍道町水道企業団規約の変更許可
17.3.31	宍道町の松江市との合併により、「斐川宍道水道企業団」に改称
18.3	細砂ろ過浄水施設の実証実験施設完成(4 月実験開始)
18.8	クリプト滅菌に紫外線照射 (UV) が平成 19 年度より認可の見通し
18.9.	玉湯町分水契約合意 (平成 20 年度より実分水量契約)
18.10.	第 4 取水井更新 調査業務
20.3	新第 4 取水井 竣工 (株三協工業)φ1200×18m スクリーン長 L=8.5m
21.3	新送水ポンプ棟完成 (第 8 配水池系)
21.9	送水ポンプ電気機械設備着工
21.10	第 8 配水池着工
21.11	出西水源地用地購入 (950 m ²)
21.12	紫外線照射滅菌施設棟新築
21.12	次亜塩素酸ナトリウム滅菌設備完成
22. 1	出西水源地用地購入 (905 m ²)
22.3	除鉄除マンガン濾過設備完成
22.10	第 8 配水池竣工
23. 3	紫外線照射滅菌設備完成
23. 7	出西水源地送水ポンプ電気機械設備完成
23. 8.11	給水開始 50 周年記念日 (記念誌発刊・記念碑建立)
23.10. 1	出雲市合併により新企業団として発足
	宍道 5 地区簡易水道事業を統合
24.3.31	増補改良事業 (第 2 期事業) 竣工

24.4.1	大黒山麓地区簡易水道事業を統合
26.3.31	宍道5地区、大黒山麓地区簡易水道統合整備事業着工 大黒山麓地区第1・第2中継ポンプ場竣工により直江配水池系統から送水開始 工業用水ポンプ場電気・機械設備工事竣工、配水管整備工事竣工により第6配水池を利用した自然流下方式開始
27.3.30	新大野原配水池から配水開始
27.3.31	宍道5地区、大黒山麓地区簡易水道統合整備事業竣工
28.1.24～26	平成 28 年 1 月寒波被害
29.4.1	阿宮地区、島村地区簡易水道事業を統合
30.2. 6～12	平成 30 年 2 月寒波被害



2. 施設所在地

	施 設 名	所 在 地
1	水道企業団庁舎	出雲市斐川町上庄原 1749-1
2	出 西 水 源 地	出雲市斐川町出西 762
3	出西配水池 (第4配水池)	出雲市斐川町出西 3504-29
4	直江配水池 (第6配水池)	出雲市斐川町直江 3393-8
5	荻田配水池 (第7配水池)	松江市宍道町佐々布 1804-1
6	直江配水池 (第8配水池)	出雲市斐川町直江 3597-3
7	下 倉 配 水 池	松江市宍道町白石 3524-15
8	畑配水池	松江市宍道町佐々布 1492-8
9	南企業団地配水池	松江市宍道町佐々布 868-52
10	金山配水池	松江市宍道町白石 2505-9
11	新大野原配水池	松江市宍道町西来待 1289-1
12	田根配水池	松江市宍道町上来待 3602-1
13	和名佐配水池	松江市宍道町上来待 3004-2
14	荻田送水ポンプ場	松江市宍道町佐々布 2292-3
15	畑ポンプ場	松江市宍道町佐々布 1418-3
16	佐々布旭ポンプ場	松江市宍道町佐々布 3557-7
17	金山ポンプ場	松江市宍道町白石 2477-2
18	来待大森ポンプ場	松江市宍道町上来待 64-4
19	田根ポンプ場	松江市宍道町上来待 1272-5
20	和名佐浄水場	松江市宍道町上来待 3279-2
21	下 倉 ポ ン プ 場	松江市宍道町白石 829-17
22	久 戸 ポ ン プ 場	松江市宍道町東来待 1822-7
23	湖南台ポンプ場	松江市宍道町東来待 2170-49
24	岡 の 目 ポ ン プ 場	松江市宍道町佐々布 1115-4
25	工業用水道配水ポンプ場	出雲市斐川町出西 849-1
26	大黒山麓浄水場	出雲市斐川町学頭 4101-10
27	大黒山麓高所配水池	出雲市斐川町学頭 4025-15
28	大黒山麓第1中継ポンプ場	出雲市斐川町学頭 1400-5
29	大黒山麓第2中継ポンプ場	出雲市斐川町学頭 4281-4
30	阿宮浄水場	出雲市斐川町阿宮 836-7
31	阿宮配水池	出雲市斐川町阿宮 2196-2
32	畑谷ポンプ場	出雲市斐川町阿宮 2279-2
33	畑谷調整池	出雲市斐川町阿宮 2286-3
34	宮尾ポンプ場	出雲市斐川町阿宮 1050-4

3. 指定業者協議会

(令和元年9月30日現在)

	名 称	所 在 地	電 話
1	島根水道(株)	松江市宍道町佐々布 213-25	0852-66-0041
2	(有)斐川水道	出雲市斐川町直江 4018-2	0853-72-0427
3	(有)福新工業	出雲市斐川町荘原 2181-2	0853-72-2110
4	三洋興産(株)	出雲市斐川町黒目 1181	0853-63-3418
5	(株)フクダ	出雲市斐川町沖州 1080	0853-72-0201
6	(株)斐川電工	出雲市斐川町直江 5153	0853-72-3000
7	一畑住設(株)	松江市宍道町白石 229-23	0852-66-7089
8	(有)アイテックいとかわ	松江市宍道町東来待 1966-9	0852-66-0867
9	(株)増原産業建設	松江市宍道町白石 1833-1	0852-66-1000
	指定業者協議会事務局	出雲市斐川町荘原 1304-2	0853-72-9197



4. 指定給水装置工事事業者

(令和元年9月30日現在)

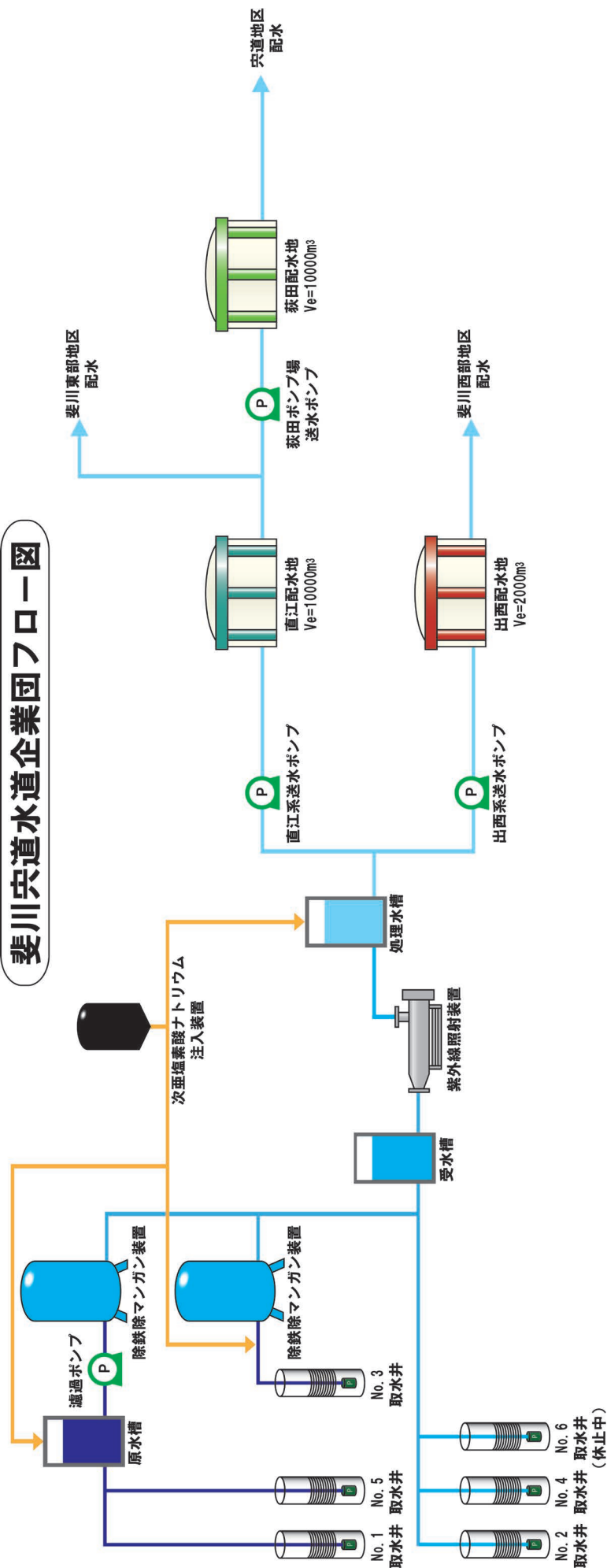
指定番号	指 定 日	名 称	所 在 地	電 話
1	10. 4. 1	三洋興産(株)	出雲市斐川町黒目 1181	0853-63-3418
2	10. 4. 1	(有)斐川水道	出雲市斐川町直江 4018-2	0853-72-0427
4	10. 4. 1	(株)原田水道工業	出雲市塩冶町 826-12	0853-21-5055
5	10. 4. 1	イマックス(株)	出雲市高岡町 166-1	0853-21-0009
6	10. 4. 1	(有)福新工業	出雲市斐川町荘原 2181-2	0853-72-2110
7	10. 4. 1	山陰クボタ水道用材(株)	松江市平成町 182-15	0852-24-2418
8	10. 4. 1	(株)フクダ	出雲市斐川町沖州 1080	0853-72-0201
9	10. 4. 1	大成電気水道工業(株)	出雲市大津新崎町 5 丁目 50	0853-23-2755
10	10. 4. 1	山洋工業(株)	出雲市中野町 6-1	0853-21-3400
12	10. 4. 1	(株)八雲水機	出雲市塩冶有原町 6 丁目 1	0853-22-7818
13	10. 4. 1	島根水道(株)	松江市宍道町佐々布 213-25	0852-66-0041
14	10. 4. 1	(株)出雲設備	出雲市平野町 646-1	0853-22-4880
15	10. 4. 1	山陰水道工業(株)	松江市母衣町 83-6	0852-24-3849
16	10. 4. 1	(有)平田水道工業	出雲市平田町 1321	0853-62-2097
17	10. 4. 2	島根電工(株)出雲支店	出雲市斐川町併川 887-1	0853-31-5840
18	10. 4. 14	山陰冷暖(株)	出雲市今市町 840- 3	0853-21-3415
19	10. 7. 1	(株)園山設備	出雲市白枝町 797-11	0853-22-8672
22	10. 7. 21	森田産業(株)	出雲市白枝町 238	0853-28-2455
24	10. 7. 29	山陰酸素エンジニアリング(株)	松江市平成町 182-29	0852-24-2053
25	10. 7. 29	(株)太陽水道工事	松江市学園南 1 丁目 16-6	0852-22-3204
26	10. 8. 10	(株)吾郷設備	出雲市今市町南本町 37	0853-22-1175
27	10. 8. 20	(有)ホクヨウ	松江市西忌部町 35-2	0852-33-2280
28	10. 8. 20	新和設備工業(株)	松江市平成町 182- 22	0852-24-5716
29	10. 8. 27	アクト(株)	出雲市斐川町直江 1311-1	0853-72-0766
30	10. 9. 1	アクアシステム(株)	安来市安来町 431	0854-22-3538
31	10. 9. 1	シンセイ技研(株)	松江市平成町 182-37	0852-21-5466
32	10. 9. 7	(株)おおやしろ工業	出雲市浜町 319-6	0853-22-7768
35	10. 9. 28	飯塚電気工事	出雲市斐川町三分市 2357-2	0853-63-3086
38	10. 11. 24	(有)新宮設備	出雲市松寄下 1716-3	0853-22-5753
39	11. 2. 17	(有)勝部建材店	出雲市西平田町 100	0853-63-1550
40	11. 2. 17	(株)佐田建設	出雲市佐田町須佐 742-6	0853-84-0138
42	11. 2. 26	(有)青山設備	出雲市高岡町 56-1	0853-23-3715
45	11. 4. 1	(株)豊和設備	松江市東津田町 1205-3	0852-22-4463

46	11. 4. 5	曾田工業	出雲市斐川町沖州 272	0853-72-3615
48	11. 5. 10	山陰フォーラム(株)	出雲市東神西町 95-2	0853-43-3211
49	11. 5. 17	平野設備	出雲市斐川町直江 4914-2	0853-72-8888
50	11. 6. 29	岩成工業(株)	出雲市大社町杵築西 1892	0853-53-5151
51	11. 8. 2	須谷農機(有)	出雲市松寄下町 717-1	0853-21-0924
52	11. 8. 25	(有)宇都宮工業	松江市竹矢町 1212	0852-37-1823
53	11. 10. 20	(株)斐川電工	出雲市斐川町直江 5153	0853-72-3000
54	11. 11. 16	(有)協同サービス	出雲市江田町 55-1	0853-21-6660
55	12. 1. 28	角水道工業(株)	出雲市平田町 5522-6	0853-63-3553
56	12. 2. 10	(有)柿田設備工業	出雲市大社町北荒木 461-3	0853-53-5998
57	12. 2. 10	(有)松本設備	雲南市大東町東阿用 338-11	0854-43-2883
58	12. 5. 1	大湖工業(株)	出雲市多久町 891	0853-62-3764
59	12. 6. 7	(株)ヒロクニ建設	出雲市斐川町上直江 1032-1	0853-72-6070
60	12. 6. 21	松江管工(有)	松江市東朝日町 207-1	0852-24-5346
61	12. 10. 3	(株)木次設備工業	雲南市木次町里方 1089-13	0854-42-0547
62	13. 7. 9	(有)エスエー工業	出雲市平野町 477-1	0853-30-1828
63	13. 9. 18	(株)シンコー工業	出雲市白枝町 839-2	0853-23-7170
64	13. 10. 30	(有)井上設備	松江市西持田町 788	0852-27-8833
65	13. 11. 27	(有)高見水道	安来市植田町 965	0854-28-6606
66	14. 3. 19	(有)大森設備	出雲市塩冶原町 1 丁目 5-16	0853-22-3941
67	14. 5. 21	(株)大湖設備	松江市浜乃木町 5 丁目 10-3	0852-25-5074
68	14. 6. 14	(有)トップ管工	雲南市加茂町大西 313-1	0854-49-9559
70	14. 10. 25	石田電気水道(有)	松江市東朝日町 82-4	0852-25-3333
73	15. 7. 18	青木水道(有)	出雲市大社町杵築西 2288	0853-53-3341
74	15. 8. 8	(有)森山組	出雲市稗原町 2124-7	0853-48-0036
75	15. 8. 18	(有)新川電器	出雲市斐川町直江 4028-2	0853-72-3145
76	15. 10. 3	西部温泉工業(株)	出雲市今市町北本町 5 丁目 5-27	0853-22-9622
77	15. 10. 29	いずも建装	出雲市大津町 3737	0853-22-8330
79	15. 11. 18	(有)奥野水道	出雲市佐田町一窪田 1246-3	0853-85-2128
80	16. 2. 23	曾田設備	出雲市松寄下町 1868-4	0853-28-2991
82	16. 3. 9	中国環境(株)	出雲市神西沖町 2489-2	0853-43-3636
83	16. 3. 31	陰山工業	出雲市斐川町出西 3607-7	0853-72-2462
84	16. 4. 19	(株)角建築	出雲市鹿園寺町 226-2	0853-67-0434
86	16. 5. 10	(有)ダイチ工業	出雲市斐川町上直江 349-1	0853-72-4970
87	16. 5. 20	(有)マツケン	雲南市木次町里方 1335-33	0854-40-0505
88	16. 7. 21	(有)徳建	雲南市木次町東日登 508-8	0854-42-0346
89	16. 7. 27	(有)アイテックいとがわ	松江市宍道町東来待 1966-9	0852-66-0867
90	16. 8. 10	一畑住設(株)	松江市宍道町白石 229-23	0852-66-7089
91	16. 8. 26	(株)オンチョウ	松江市矢田町 250-105	0852-22-0330

92	16. 9.15	(有)三原住設工業	松江市東出雲町楯屋 150-4	0852-52-2504
93	16.12.22	竹内設備	出雲市大津町 2452-2	0853-23-2035
94	17. 1.25	(有)松原産業	雲南市木次町木次 788-1	0854-42-5580
95	17. 2.16	渡部設備	雲南市加茂町大竹 130-1	0854-49-8222
96	17. 4.26	(有)板持土木	雲南市木次町寺領 341	0854-42-5431
97	17. 6.13	(有)南場工務店	出雲市坂浦町 739	0853-68-0007
98	17.10.14	松栄設備(株)	松江市東出雲町出雲郷 1643	0852-52-6377
99	18. 3.30	(有)山洋電機商会	出雲市斐川町荘原 3055-4	0853-72-0727
100	18. 4.10	安本設備	松江市古志原 7 丁目 6-2	0852-61-1231
101	18. 9.13	ウオール開発	出雲市塩冶有原町 1-42	0853-21-5852
102	18. 9.21	(有)鎌田組	出雲市松寄下町 1965	0853-22-6970
103	18.10.11	(株)陶山建設	雲南市木次町寺領 468-3	0854-42-0207
104	18.11.13	(有)パイプフレンド	鳥取市湖山町北 3 丁目 468	0857-28-1324
105	19. 2. 5	(有)グロウス	松江市八幡町 820-15	0852-37-0310
106	19.10.19	(有)舟木設備	雲南市大東町仁和寺 378	0854-43-3780
107	19.10.26	(有)野々村水道	雲南市大東町養賀 434	0854-43-2799
108	19.12.19	(株)島根水道センター	松江市東津田町 1076-4	0120-10-10-33
109	20.4.11	ハラ設備工業	出雲市斐川町荘原 2328-2	0853-72-8956
110	20.7.23	(有)伊藤石油	出雲市白枝町 592-2	0853-22-0247
111	20.10.3	イワタニ山陰(株)	松江市学園 2 丁目 16-37	0852-26-7771
112	21.1.20	又新(有)	雲南市木次町里方 1109-2	0854-42-1151
113	21.2.16	(株)ジェットクリーン	出雲市古志町 926-1	0853-21-6418
114	21.2.16	フジイリーク	松江市東朝日町 151-3	050-3440-1205
115	21.3.17	(株)増原産業建設	松江市宍道町白石 1833-1	0852-66-1000
116	21. 5. 1	(株)イマスイ	出雲市高岡町 297-1	0853-24-3434
117	21. 6. 1	積和建設山陰(株)	松江市東出雲町意宇南 1 丁目 2-2	0852-52-7801
119	22. 3. 1	ヤナセ工業(有)	松江市大庭町 279-5	0852-24-1738
120	23.4.22	小村設備	出雲市白枝町 261-2	0853-28-3850
121	23.10.20	サンプラス(株)	出雲市平野町 735	0853-21-2322
122	24.2.27	高野設備	出雲市荻杼町 625-2	0853-23-1279
123	24.4.16	(株)電設サービス松江営業所	松江市東朝日町 207-1	0852-28-4420
125	24.10.22	(有)錦織プロパン	出雲市姫原町 130-1	0853-21-2305
126	25.6.12	(株)イエスコーポレーション	出雲市古志町 391-1	0853-23-2535
127	25.8.26	林産業(株)	出雲市灘分町 2281-2	0853-62-1144
128	26.5.13	松白設備	松江市乃白町 539-2	0852-21-0910
129	26.10.17	(有)共栄住設	松江市東津田町 851-11	0852-27-2163
130	27. 1. 8	(株)もりやま	出雲市大社町菱根 1025-1	0853-53-5016
131	27.2.17	親共設備	松江市八雲町西岩坂 469-3	0852-54-1393
132	27.2.17	(有)大廻電器店	松江市宍道町昭和 19	0852-66-0508

133	27.4.15	(有)米田住設	仁多郡奥出雲町大呂 2380	0854-52-0412
134	27.7.6	こだま水工	出雲市稗原町 1109	0853-48-0469
135	27.8.12	(株)大畑設備	出雲市下横町 488-10	090-6435-2081
136	28.9.16	イマックス(株)雲南営業所	雲南市加茂町南加茂 706-11	0854-49-8420
137	28.10.20	イマックス(株)松江営業所	松江市玉湯町湯町 162-1	0852-67-3470
138	29.2.9	(株)倉橋工務店	出雲市野郷町 1900	0853-67-0108
139	29.2.15	(有)三島工業所	松江市八雲町日吉 282-14	0852-54-0285
140	29.11.15	内山設備(株)	松江市下東川津町 273-5	0852-67-6331
141	29.12.15	(株)高宮電気	松江市東津田町 1212-16	0852-60-1900
142	30.8.22	(株)クラシアン	岡山市南区下中野 1421-1	086-245-6471
143	30.9.11	M-works	出雲市大社町中荒木 1898-17	090-4656-8648
144	31.2.25	(株)清水設備	出雲市白枝町 1190-1	090-2008-9730
145	31.3.12	(有)出雲市水道サービスセンター	出雲市姫原 2 丁目 9-13	0853-21-2802
146	31.4.2	大福工業(株)	出雲市枝大津町 2-7	0853-21-4151
147	31.4.17	(株)STM 総建	雲南市三刀屋町三刀屋 54-4	0854-47-7435
148	R1.8.16	田中水設(株)	出雲市今市町北本町 2 丁目 7-14	0853-24-7022

斐川央道水道企業団フロー図



斐川宍道水道企業団 管内図



斐川宍道水道企業団水道事業
計画給水人口 38,000 人
計画1日最大給水量 18,000.0m³/日

島村地区

佐倉・田根地区

斐川宍道水道企業団
事務所

下倉配水池

新大野原配水池

田根配水池

金山ポンプ場
(県受水)

金山配水池

和名佐配水池

和名佐浄水場

和名佐・小林地区

菅原地区

金山地区

佐々布旭・畑地区

畑配水池

大黒山麓配水池
(高区・低区)

大黒山麓地区

上阿宮配水池

阿宮浄水場

直江配水池

工業用水道配水池

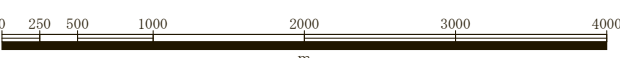
出西配水池

出西水源地

工業用水道水源地

阿宮地区

1 : 50,000



H29.4.1現在

凡 例	
	企業団行政区域
	旧上水道給水区域
	旧簡易水道区域
	簡易水道区域
	既存施設
	簡易水道施設
	上水道 配水管
	上水道 送水管
	工業用水道 配水管
	工業用水道 送水管
	簡易水道 配水管



出西水源地全景

水道事業年報（平成30年度）

平成30年4月1日～平成31年3月31日

編集 斐川宍道水道企業団

島根県出雲市斐川町上庄原 1749-1

電話（0853）72－8215

FAX（0853）72－8216

令和元年11月発行